

東大阪市埋蔵文化財包蔵地調査概要29

東大阪市埋蔵文化財発掘調査概要

—昭和62年度—

1988・3

東大阪市教育委員会

東大阪市埋蔵文化財包藏地調査概要29

東大阪市埋蔵文化財発掘調査概要

— 昭和62年度 —

花草山23・24号墳発掘調査
出雲井遺跡第4次発掘調査

1988・3

東大阪市教育委員会

はしがき

東大阪市が昭和42年に発足しまして、ちょうど20周年を迎えました。この間、市内に所在する埋蔵文化財包蔵地の数には、年々増加の一途をたどり、調査の度ごとに個々の遺跡の範囲が広がると共に、河内平野に所在した遺跡群の実態も詳しくわかってまいりました。

こうした調査のきっかけの大半は、本市が衛星都市としての性格をかかえる中で進められてきた住宅建設の他土木建築工事に伴うもので、遺跡範囲の拡大も相まって、遺跡内での工事届出件数は、近年一層の増加をたどっております。

昭和62年度におきましては、既に 396件の届出と調査依頼があり、遺跡の調査保存について協議を進めてきましたが、この内、本年度は国庫及び府費の補助を受けた「埋蔵文化財緊急発掘調査事業」の対象として、生駒山麓の花草山23・24号墳と出雲井遺跡の2件の発掘調査を実施いたしました。

出雲井遺跡の調査では、若干の出土遺物を検出したにとどまりましたが、花草山23・24号墳は、新たに発見した古墳で、調査により比較的狭長な小型の横穴式石室の下半部が遺存し、埋葬状況を知ることが出来ました。

調査の実施あるいは報告書の作成にあたってご協力を受けました関係各位には、心よりお礼を申し上げますと共に、本書が広く活用されることを願うものであります。

昭和63年3月

東大阪市教育委員会

教育長 木寺宏

例　　言

1. 本書は、東大阪市教育委員会が昭和62年度に国庫ならびに府費の補助を受け、発掘調査を実施した花草山23・24号墳及び出雲井遺跡第4次発掘調査報告書である。

2. 各遺跡の現場調査期間は、次のとおりである。

花草山23・24号墳発掘調査　昭和62年5月6日～6月23日

出雲井遺跡第4次発掘調査　昭和62年7月28日～8月4日

3. 調査関係者及び調査担当者は、次のとおりである。

社会教育部参事　寺澤　勝

文化財課主査　原田　修・富山三郎

同　課　主任　下村晴文

同　課　　福永信雄

同　課　　宇本隆裕（出雲井遺跡第4次調査担当）

同　課　　吉村博恵（花草山23・24号墳調査担当）

4. 本書の執筆は、それぞれの担当者があたり、文責は本文目次に明記した。

5. 花草山23号墳出土の人骨の鑑定は、大阪市立大学医学部解剖学第2講座、多賀谷昭氏のご協力をいただき、原稿を賜った。また動物遺体については同講座、安部みき子氏より教示を得た。

6. 調査における土色・色調は、農林水産技術会議事務局監修、財団法人日本色彩研究所色票監修の『新版標準土色帳』にもとづき、記号の表示もそれに従った。

7. 現場調査の実施にあたっては、下記の方々のご協力をいただいた。明記してお礼を申し上げます。（順不同、敬称略）

日昭興産株式会社、西尾建築設計事務所、今村建郎、旭化成ホームズ株式会社

目 次

| | |
|----------------------------------|----|
| はじめに..... | 1 |
| 第1章 調査に至る経過..... | 2 |
| 第2章 花草山23・24号墳発掘調査..... | 4 |
| 1. 遺跡の概要..... (吉村) | 4 |
| 2. 層位..... (〃) | 5 |
| 3. 上層の遺構と遺物..... (〃) | 5 |
| 4. 第23号墳..... (〃) | 7 |
| a. 墳丘と墓壙..... (〃) | 7 |
| b. 石室..... (〃) | 8 |
| c. 再利用時の検出状況と遺物..... (〃) | 10 |
| d. 床面上の検出状況と遺物..... (〃) | 11 |
| e. 出土人骨..... (多賀谷) | 15 |
| f. 墳丘出土の甕..... (吉村) | 17 |
| 5. 第24号墳..... (〃) | 18 |
| 6. まとめ..... (〃) | 19 |
| 第3章 出雲井遺跡第4次発掘調査..... (芋本) | 21 |
| 1. 遺跡の概要..... | 21 |
| 2. 調査の結果..... | 22 |
| 3. まとめ..... | 23 |

図版目次

- 図版1 花草山23号墳遺構 1. 試掘調査時の状況
2. 調査地全景（北より）
- 図版2 花草山23号墳遺構 1. 調査地全景（東より）
2. 石室全景（北西より）
- 図版3 花草山23号墳遺構 1. 石室全景（入口側より）
2. 石室全景（奥壁側より）
- 図版4 花草山23号墳遺構 1. 石室奥壁
2. 石室右側壁（部分）
- 図版5 花草山23号墳遺構 1. 石室左側壁（部分）
2. 再利用時の閉塞石
- 図版6 花草山23号墳遺構 1. 床面遺物出土状況
2. 床面遺物出土状況（部分）
- 図版7 花草山23号墳遺構 1. 棚台および遺物出土状況（第I群）
2. 人骨検出状況（第I群）
- 図版8 花草山23号墳遺構 1. 遺物出土状況（第II群）
2. 遺物出土状況（第IV群）
- 図版9 花草山23号墳遺構 1. 再利用時の検出状況（1）
2. 再利用時の検出状況（2）
- 図版10 花草山23号墳遺構 1. 瓦出土状況（1）
2. 瓦出土状況（2）
- 図版11 花草山24号墳遺構 1. 遺物出土状況
2. 敷石検出状況
- 図版12 花草山23号墳遺物
- 図版13 花草山23号墳遺物
- 図版14 花草山23・24号墳遺物
- 図版15 出雲井遺跡第4次調査遺構 1. 調査前の状況
2. 第2層下面調査風景
- 図版16 出雲井遺跡第4次調査遺構・遺物 1. 第3層下面全景
2. 出土遺物

挿図目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 第1図 遺跡周辺図 (1/20,000) | 3 |
| 第2図 古墳分布図 (1/5,000) | 4 |
| 第3図 層位図 (1) (1/40) | 5 |
| 第4図 包含層内出土遺物 | 5 |
| 第5図 トレンチ位置図 (1/200) | 6 |
| 第6図 層位図 (2) (1/40) | 7 |
| 第7図 石室上面図 (1/40) | 8 |
| 第8図 石室全体図 (1/40) | 9 |
| 第9図 再利用時の検出状況 (1/20) | 10 |
| 第10図 再利用時の閉塞石 (1/40) | 11 |
| 第11図 再利用時以降の土器 | 11 |
| 第12図 床面遺物出土状況 (1/20) | 折込 |
| 第13図 石室床面出土土器 | 13 |
| 第14図 石室床面出土鉄製品 | 14 |
| 第15図 石室出土人骨 | 16 |
| 第16図 墳丘出土の甕実測図 (1/6) | 17 |
| 第17図 甕実測図 | 17 |
| 第18図 敷石造構 (1/10) | 18 |
| 第19図 敷石造構出土土器 | 19 |
| 第20図 古墳の分布と調査地点 (1/5,000) | 21 |
| 第21図 調査地北壁断面図 (1/20) | 22 |
| 第22図 調査位置図 (1/300) | 22 |
| 第23図 出土遺物 | 23 |

表 目 次

昭和62年度市域調査（予定）一覧表.....24~40

はじめに

東大阪市は、地形的にみると河内平野部、生駒山地山麓部・山岳部の3つに大別される。平野部には、弥生時代以降の遺跡、山麓部には旧石器時代から中世にいたる遺跡、山岳部には古墳や平安時代以降の山岳寺院などが存在している。これら周知の遺跡（埋蔵文化財包蔵地）は現在 124ヶ所の存在を確認しているが、特に居住域として最適な山麓部に分布密度が濃いのが特徴である。

昭和62年度における市域の埋蔵文化財包蔵地（以下、遺跡という）での土木、建設工事は過去最高であった。これらの工事は市域全体で行なわれている。特に從前あまり開発のなかった山岳部にも宅地開発が目立ちつつある。文化財保護法第57条の2・3に基づく届出、通知件数は、396件（昭和63年2月末現在）で、去年（311件）と比べて85件増加している。この原因は、内需拡大政策の浸透による住宅建設等や相続税対策による共同住宅建設の増加などが考えられる。

発掘届（356件）、通知（40件）に基づく指示の内訳は、発掘調査 236件、立合調査 149件、慎重工事11件である。個々については、別表の市域調査一覧表を参照されたい。届出の工事別内訳は、住宅建設 292件、工場、倉庫建設26件、ビル事務所建設21件、下水道、河川工事17件、道路敷設、改良工事1件、水道管埋設工事16件、電気工事2件、ガス、電話工事1件、校舎建設6件、その他13件である。

本市においては、遺跡外であっても工事中に新たな遺跡の不時発見となることを極力避けるため、開発協議に係る 500m以上の開発に対しては、工事場所、建造物の掘削深度、建築面積を考慮の上、必要と思われる場合には、試掘依頼書の提出を求めて、調査を実施するよう指導している。また、不動産の売買や開発に先立って遺跡内、外を問わず試掘調査依頼を受けて調査を実施する事が増加してきている。特に遺跡内の開発に先立って試掘調査を実施した後、その結果を基に埋蔵文化財に影響を及ぼさないよう開発計画を決定するケースが多くなりつつある。これらの試掘依頼（別表中、※印の分）は、2月末現在60件である。試掘依頼を受けて実施した調査では、市尻遺跡（No.238）の発見や、周知していた遺跡の範囲がさらに広がることが判明している。

指示に基づき行なった発掘調査や立合調査あるいは試掘依頼を受けて実施した調査などで、埋蔵文化財を検出した場合、努めて盛土や基礎掘削の深さなどの設計変更を指導しているが、工事の関係で止むを得ずいわゆる発掘調査となつたものが22件あった。この件数も過去最高であるが、届出や通知の増加に比例していることは明らかである。

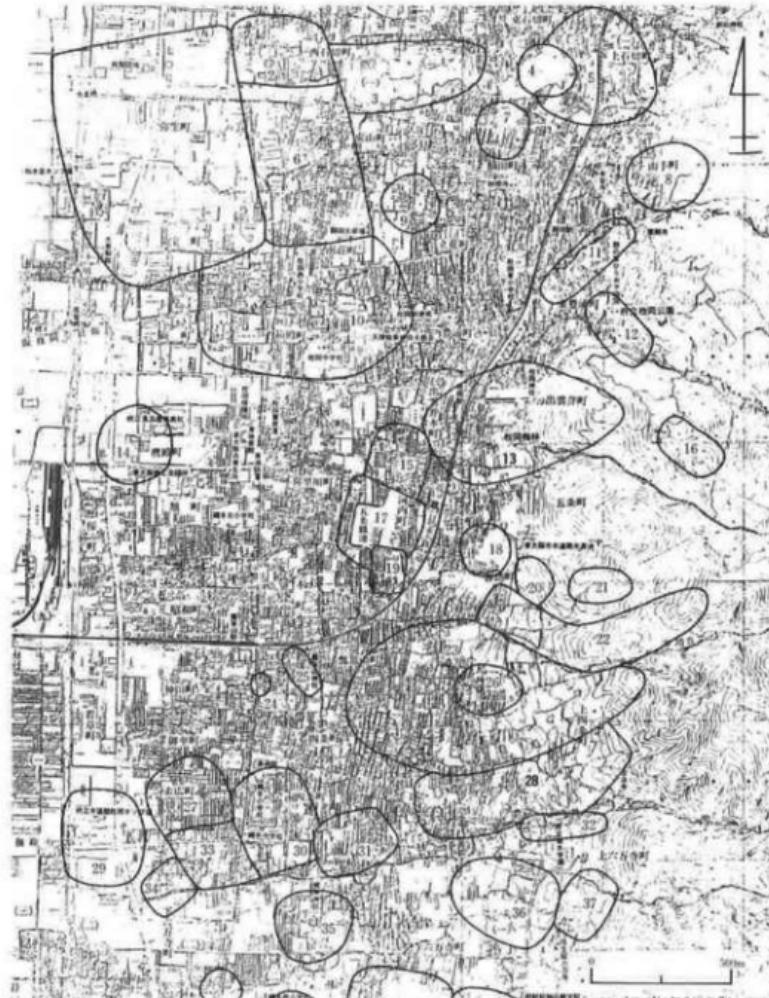
今回報告する国および府費の補助を得て実施した出雲井遺跡（No.149）、花草山23・24号墳の調査もこのうちの2件である。個々の調査については、報文によられたいが、東大阪の原始・古代を知る上で多くの資料を得ることができた。

第1章 調査に至る経過

東大阪市の東部は標高600~400mの山々が連なる生駒山地が南北に走り、奈良県と境を接している。その山頂付近から山麓部に亘る地域には旧石器時代から近世に至る数多くの遺跡が点在しており、人々が古くから住み続けていたことを物語っている。旧石器時代の遺跡としては標高約80m前後に位置する芝坊主山、正興寺山、山畠遺跡があり、ナイフブレイドを採取している。縄文時代になると有舌尖頭器を表す草創期の草香山遺跡、早期の押型文土器が出土した日下、神並遺跡がある。とくに神並遺跡では第11次調査で集石土坑などを確認している。前期では鬼虎川遺跡において北白川下層の土器と当時の海岸線を検出し、中期は善根寺、日下、鬼虎川遺跡で少量の土器が出土しているだけである。後期以降になると遺跡は増え、日下、芝ヶ丘、鬼塚、繩手、馬場川遺跡などがあり、多量の遺物・遺構を検出している。これまで日下遺跡では33体におよぶ晩期の人骨-土壙墓一が出土している。弥生時代になると遺跡は平野部へ移行し、鬼虎川、瓜生堂、山賀遺跡などがある。鬼虎川遺跡では前期から中期にかけての貝塚、中期の環濠・方形周溝墓などを確認しており、かなり大きな集落を形成していたと考えられる。古墳時代には西岩田、山賀遺跡などで前期の集落がみられるが、この時期の古墳は認められていない。ただ、石切鏡神社に銅鏡、環頭大刀、碧玉製品が保管されており、前期古墳の存在を示唆するものと言われている。後期以降は芝ヶ丘、神並、鬼塚、市尻、西ノ口遺跡などで掘立柱建物群が見られ、山麓部を中心に数多くの古墳が築造されている。50~30mを測る瓢箪山古墳、芝山古墳などもあるが、ほとんどは10~20m前後の小古墳であり、山畠古墳群、出雲井古墳群、花草山古墳群などの群集墳を形成している。奈良時代以降中世に亘る遺跡としては神並、西ノ辻、水走、若江遺跡などがある。神並遺跡は「神並庄」としての庄園との関り、水走遺跡は環濠をもつ集落遺跡であり水走氏の開発-「水走文書」-との関係、若江遺跡は河内の守護所としての若江城の存在など文献史料を裏付ける資料を検出している。

1. 花草山23・24号墳 発掘調査は、昭和62年3月10~18日に行われた、住宅建設に先立つ試掘調査を受けて実施したものである。試掘調査では4ヶ所(A~D地区)のトレンチを設定して調査した。その結果、A、B、Dトレンチでは数点の土器片が出土したのみであったが、Cトレンチにおいては大甕、杯などの須恵器ととともに石室を検出し、古墳の存在を確認した。それにより、本古墳を花草山23号墳と名付け、石室部分を中心に調査を実施した。調査の進展とともに、23号墳の東南方向に敷石遺構(24号墳)を検出した。調査は昭和62年5月6日から6月23日まで実施した。

2. 出雲井遺跡第4次調査 調査は第3次調査地の西約50mの地点で、個人住宅の建設が計画されたのに伴って実施した。住宅予定地は棚田状の平坦地であるが、第3次調査の際に棚田の下に埋れた古墳が知られたこと、試掘調査のときに地山の高まりを検出し、古墳の盛土である可能性が否定しきれなかったこと、中世末~近世初めの土器片が少量ながらも出土したことなどから調査を実施するに至った。調査は昭和62年7月28日から8月4日まで実施した。



1. 鹿虎川遺跡 2. 緑附遺跡 3. 神並遺跡 4. 正興寺山遺跡 5. 神並古墳群 6. 西ノ辻遺跡 7. 若宮古墳群
 8. 須田山古墳群 9. 須田寺跡 10. 鬼塚遺跡 11. みかん山古墳群 12. 青浦谷古墳群 13. 出雲井遺跡 14. 前立遺跡
 15. 孫塚遺跡 16. 神津城祭祀遺跡 17. 曲池遺跡 18. 五条古墳 19. 河内寺跡 20. 客坊山庭寺 21. 五条山古墳群
 22. 客坊山古墳群 23. 山畠古墳群 24. 市原遺跡 25. 桜尾山古墳 26. 山姫遺跡 27. 五合田遺跡 28. 花草山古墳群
 29. 北鳥泡遺跡 30. 純手遺跡 31. 上六万寺遺跡 32. 五里山古墳群 33. 段上遺跡 34. 下六万寺遺跡 35. 鶴山遺跡
 36. 若浦山遺跡 37. 往生院金堂跡

第1図 遺跡周辺図 (1/20000)

第2章 花草山23・24号墳発掘調査

1. 遺跡の概要

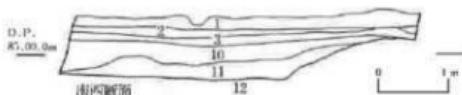
花草山古墳群は東大阪市上四条町に分布する古墳時代後期の群集墳である。北には花草谷を境として東大阪市最大の群集墳・山畠古墳群、南には鳴川谷を界として五里山古墳群が隣接している。古墳群は標高140mの尾根上より60mの扇状地域の間に24基の古墳を確認しており、その分布状態などから3支群より構成されていると考えられる。南の第1支群は標高120mにある1号墳から大池公園の東に位置する8号墳へと続いている。第2支群は標高140mにあった9号墳から13号墳へと続く。そして14号墳から標高100mにある20号墳に至る7基よりなる第3支群とに分かれている。今回報告する23・24号墳は13号墳の東20mに位置し、第2支群に存することになる。

24基のうち完存するのは4基のみで、7基は半壊状態であり、14基は消滅している。古墳のほとんどは石室を伴い、8~15mの円墳または方墳で構成されている。これまで、本古墳群の本格的な調査はなく、「河内四條史」などに一部紹介されているだけである。完存する4基のうち15号墳は横穴式石室をもつ径15m、高さ3mの円墳である。石室は幅1.9m以上、長さ4.2mの玄室、幅1.7m、長さ4.0mの羨道を有する左片袖式で、羨道部に宝曆13年(1763)の銘をもつ経塚として使用された石塔があることから、経塚古墳と呼ばれている。16号墳は鉢伏古墳とも称される東西・南北13m、高さ3.5mの方墳または円墳であり、玄室の奥壁幅1.9m、長さ4.9m、羨道幅1.7m、長さ3.9mの横穴式石室を有している。このように現存する古墳は少なく、各古墳の築造時期を知る明確な資料も乏しく、本古墳群の形成期間を限定することは難しい。

註(1) 萩田照次・藤井直正編 「考古資料」 「河内四條史 第二冊 史料編I」 1977年



第2図 古墳分布図 (1/5000)



1. オリーブ黒色粘質土 (7.5Y 3/2)
2. 棕色粘質土 (7.5Y R 7/8)
3. 黄橙色粘質土 (10Y R 7/8)
10. 明黄褐色砂礫土 (2.5Y 4/3)
11. 暗オリーブ色砂礫土 (2.5Y 4/3)
12. 明黄褐色砂礫土 (2.5Y 6/8)

第3図 層位図(1) (1/40)

2. 層位

調査地は近年まで水田であり、周辺部を含め12~5 m幅の不定形の棚田が形成されていた。調査時には荒地となっていて、耕土は東南地域で確認したのみであった。

第1層 オリーブ黒色粘質土 (7.5Y 3/2) 耕土。

第2層 棕色粘質土 (7.5Y R 6/8) 細粒砂を含み、下部灰褐色土 (7.5Y R 5/2) 混る。

第3層 黄橙色粘質土 (10Y R 7/8) 細・中粒砂を多く含み、土師器、瓦器、黑色土器、須恵器などの小片多く出土。

第10層 明黄褐色砂礫土 (2.5Y 6/6) 石塊を多く含む。

第11層 暗オリーブ色砂礫土 (2.5Y 4/3)

第12層 明黄褐色砂礫土 (2.5Y 6/8)

第4~5層は23号墳に伴う盛土で、第6~8層は同墳の墓壙内の埋土であり、23号墳の墳丘の項で詳述する。

3. 上層の遺構と遺物

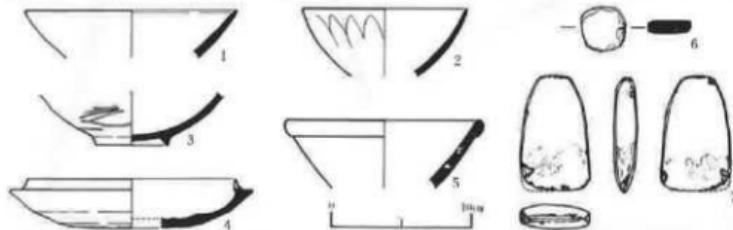
調査地の南部では近世以降の水田形成に伴う石組列、西北部分では土留めに伴うと考えられる近代以降の石群を検出した。石群内からは須恵器大甕片、黒色土器1、青磁碗2、瓦器碗

3、土師器片、石器7とともにウマの歯、イノシシまたはブタの骨などの動物遺体が出土した。石群の石は碎礫がほとんどであったが、23号墳の天井石や側壁の石も利用されていた。

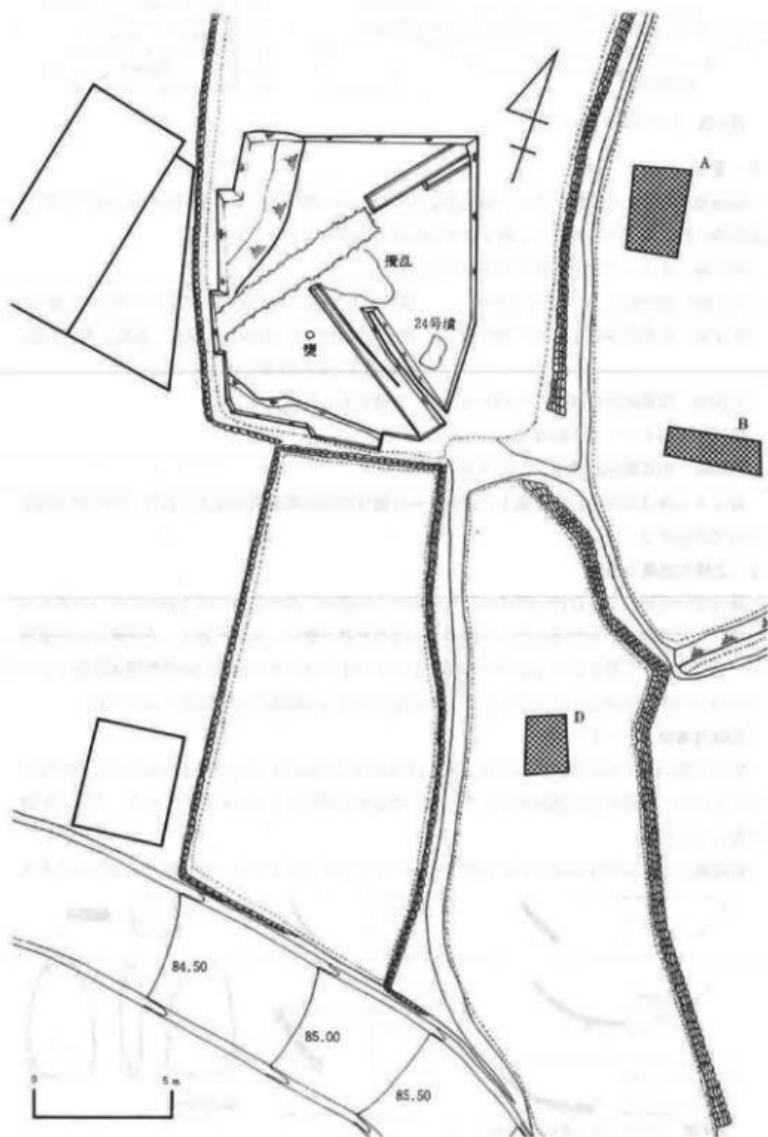
石群内遺物 (1~3・7)

黒色土器(1) 復元口径15cmを測る柄。口縁端部は回転のヨコナデにより引き出しや尖らせておさめ、端部内面に沈線を施している。内面には緻密なミガキが見られるが、外面は磨滅が著しく不明。

青磁碗(2) 体部はゆるやかに内弯しながら外上方に立ち上がり、口縁端部をやや丸くおさ



第4図 包含層内出土遺物 (1/40)



第5図 トレンチ位置図 (1/200)

めている。体部外面には少し細身の蓮弁文様が見られ、1.2~0.5mmの釉を全面に施しており、磁胎は灰白色を呈する。龍泉窯。

瓦器碗(3) 断面三角形のやや高い高台を有し、体部はゆるやかに内弯しながら外上方に立ち上がる。体部外面はユビオサエのち粗いヘラミガキが施されているが、内面は磨滅が著しく調整不明。

磨製石斧(7) 蛇紋岩製の扁平刃石斧。頂部幅2.5cm、刃部幅4.5cmの幅広がりで、横断面はふくらみをもつ長方形を呈す。全面、丁寧に研磨されており、頂部は敲打による裂痕、刃部は使用による剝離と磨耗が見られる。

第3層内遺物 (4・5・6)

須恵器杯身(4) たちあがりは内傾して短かく立ち、端部を尖くまみあげている。受部はやや外上方にのび、先端部を丸く仕上げている。底部はやや扁平で、器高は高くない。底部外面2/3は左まわりのロクロによる回転ヘラケズリ調整している。

白磁碗(5) 体部はゆるやかに内弯しながら外上方へ立ち上がる。口縁部はやや幅広の玉縁状を呈し、端部を丸くおさめている。釉は0.3~0.5mmと薄く全面に施されており、磁胎は灰白色である。

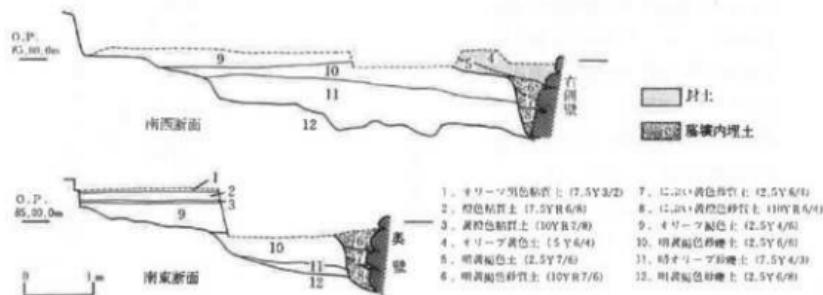
円盤形瓦製品(6) 径3cm、厚さ1cmのやや隅丸方形に近い円形を呈する。いぶし瓦を使用し、周縁部はやや細かく打ち欠いたのち削って整形している。いづれの面も磨滅が著しく、1面の一部は欠損している。

註(1) 安部みき子氏（大阪市立大学医学部解剖学第2講座）より教示を得た。

4. 第23号墳

a. 墳丘と墓壙

墳丘は後世の削平などにより、その遺存状態は極めて悪い。西は現代の水田に伴う石垣、北西側は近代以降の土留め工事により、石室付近まで削り取られていて、盛土はまったく確認することができなかった。また、調査地が近年まで水田であったことから、上部はほとんど削平されて平坦になっていた。近世初期の整地層である第3層を取り除くと、古墳築造前の層一石



第6図 層位図(2) (1/40)

室墓壙掘削面である第9・10層がほぼ全面に広がっていて、封土である第4・5層は石室周辺部とその東南地域で1部検出しただけであった。また、古墳に伴う溝もなく、墳丘の墳形および正確な規模を知ることはできなかった。

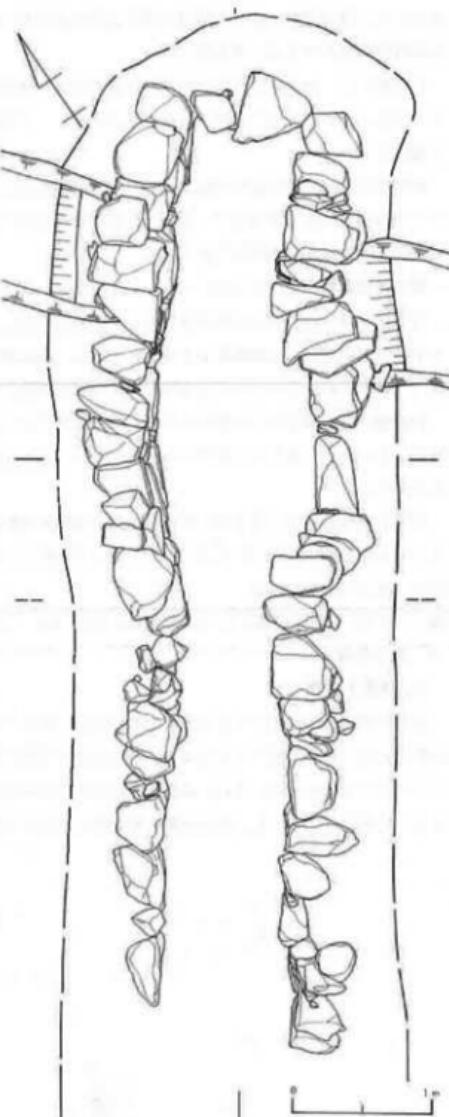
古墳は東から西へのびるゆるやかな傾斜面を利用して築かれていた。古墳築造前にはすでに、地山（第12層）上面に3層の堆積層（第9～11層）があった。第10・11層は無遺物層で、石塊・礫を多量に含み、自然の堆積と考えられる。第9層は23・24号墳の建築面で、墓壙の掘削面をしており、須恵器の小片、サスカイト片などを含み、人為的な層と思われる。古墳封土は、

第4層 オリーブ黄色土(5Y6/4)
小砾、粗・中粒砂を含む。
第5層 明黄褐色土(2.5Y7/6)
灰オリーブ色土(7.5Y5/2)混る。
だけが残存していて、石室東南部の
第4層上面で埋め立てられた小型の
甕を検出した。

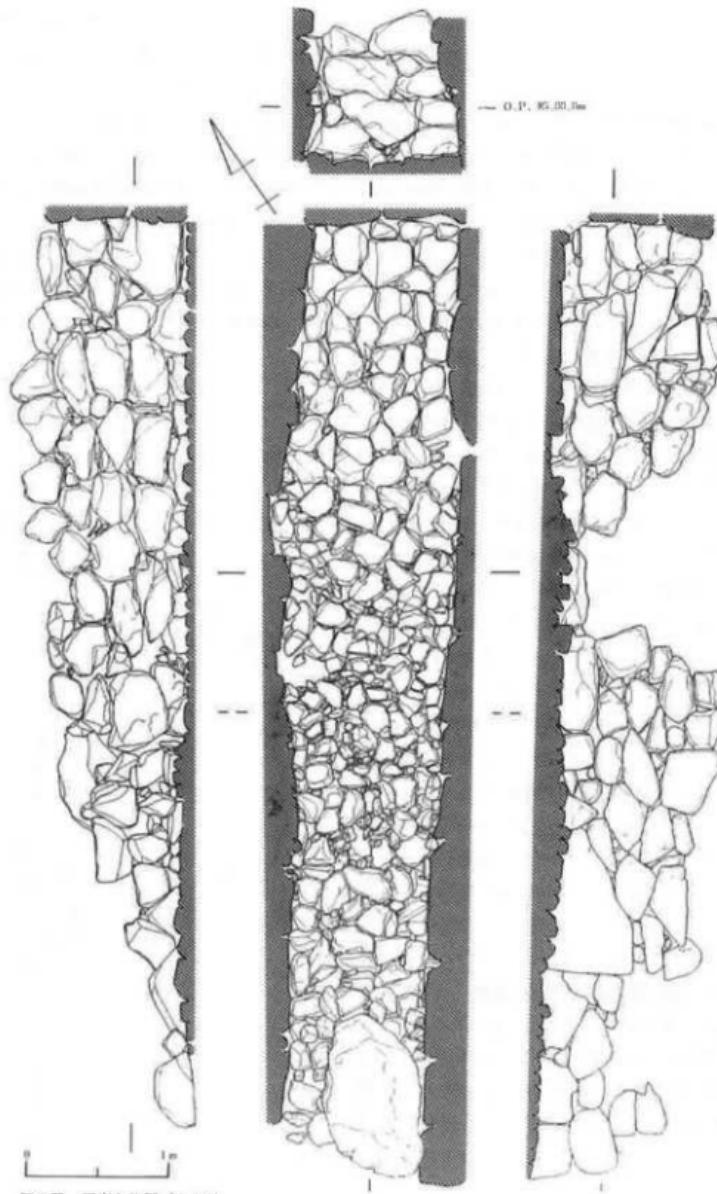
石室墓壙は第9・10層上面およびトレシチで確認した。検出面での幅2.5m前後、長さ7.5m以上、深さ東側80cm以上、西側60cm以上を測る。石室の奥壁・側壁の2～3段分が墓壙内となり、裏込めの土はほぼ1段ごとに層をなしているが、ほとんど砾、粗・中粒砂混りの土（第6～8層）で構成されていた。

b. 石室

主体部は、主軸が N-35°-E 方向



第7図 石室上面図 (1/40)



第8図 石室全体図 (1/40)

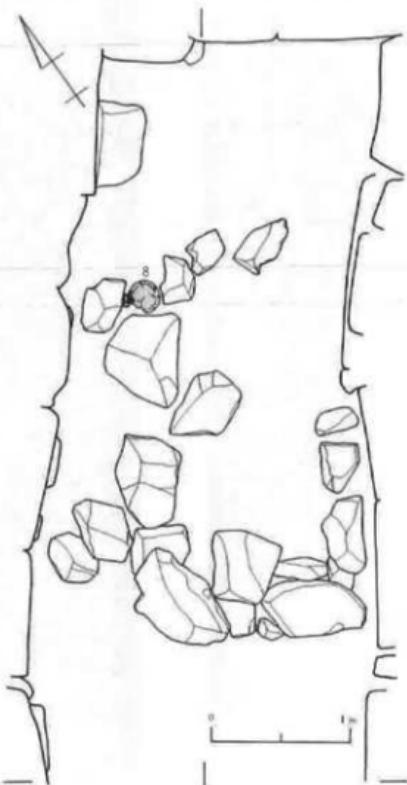
の無袖の横穴式石室である。石室の遺存状態はあまりよくなく、天井石、側壁・奥壁の上段部はほとんど欠損していた。右側壁の中央部は擾乱により大きく崩されており、入口部には天井石の1つが落ち込んでいた。しかし、基底部は良好な状態で残存していた。

石室の規模は奥壁の幅1.05m、中央部の幅1.3m、入口部の幅0.95mで、全長6.8mを測り、左側壁が中央部でややふくらみをもって広がっている。奥壁は4段が残っており、1段目は左右にはほぼ同規模の石を置き、2段目はその谷間に合った底面V字形の幅約70cmの石を据え、その両横に1石づつ置いて3石より構成している。3・4段は2石づつであり、各石のすき間に詰石を施している。左側壁は5~1段が残存していた。1段目は幅20~60cmの石を、平坦面を内側にして立てならべているが、中央部は20~40cmの石と詰石が見られる。2段目以上も幅50cm前後の石をかみ合わせるようにして積み上げており、中央部よりやや入口側のところには20~30cm大の石が多く見られる。右側壁も5~1段が残存していた。1段目は幅60~100cmの石を置き、2段目以上の石を積み上げている。左側壁と同様中央部により小さい石が多く、積み上げ方も乱雑である。以上、石材の重なり、詰石の状態などから石室の構築順序を考えると、奥壁材を置き、側壁は奥壁部・入口部の両側より据えてゆき、中央付近で調整しながら順次積み重ねていったと思われる。

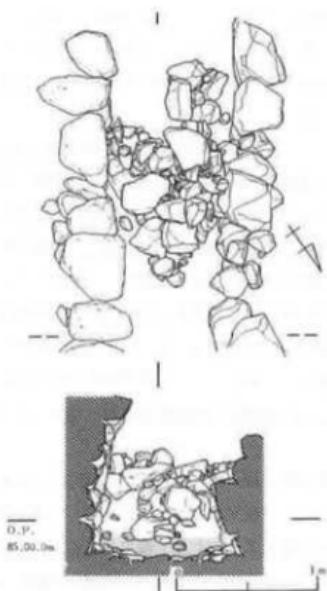
石室床面は40~15cm大の自然石を、平坦面を上にして敷きつめている。奥壁側・入口側の石に比べて中央部の石は小さいものが多い。このことは敷石の敷き方も、奥壁・入口部の両方から行い、中央部で調整していることがわかる。床面敷石の上面は左右側壁の1段目の中・上段部まで達しており、敷石を敷くうえで厚く土を入れ、上面を平坦に仕上げている。

c. 再利用時の検出状況と遺物

石室の埋土一褐色砂混り土(10Y R 4/4)一上層内からは瓦器碗9、黒色土器10などの小片が数片出土した。その上層埋土を取り除くと、奥壁近くにおいて石組を検出した。石組は敷石上約10cmの埋土の



第9図 再利用時の検出状況 (1/20)



第10図 再利用時の閉塞石(1/40)

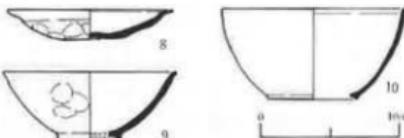
土師器中皿(8) やや丸みをもつて凹ませた底部より、体部は内弯しながら立ち上がり、口縁部は強いヨコナデによって段をなし、外方向に水平ぎみに広がり、端部を丸くおさめている。底・体部外面はユビオサエ、口縁部内外面はヨコナデ、内面はナデによって調整している。体部外面の一部にはススが付着しており、内面底部部分は黒ずんでいる。

瓦器椀(9) 断面三角形のやや高い高台を有す。体部は内弯しながら外上方に立ち上がり、口縁部は強いヨコナデにより少し外へ広き、端部をやや尖らせている。焼成があまいえに磨滅が著しく調整は不明である。

黒色土器(10) 復元口径12cmの椀である。断面三角形の高台を有し、体部は内弯しながら外上方へやや強く立ち上がり、端部を少し尖らせている。端部内面に沈線を施している。内外面とも緻密なヘラミガキで仕上げている。磨耗が著しい。

d. 床面上の検出状況と遺物

床面上の遺物などは、後世の利用および破壊を受けてはいても、比較的良好な遺存状態であったといえる。床面は全面にわたり石が敷かれており、奥壁側右寄りに棺台と考えられる石列があった。棺台は40~10cm大の石を使用して、奥壁から右側壁に沿って置かれており、入口側の短辺は3石を接して一列に並べ、右側壁側の長辺は側壁に接して奥壁面まで4石を不等間隔に置いていた。左側壁側の長辺は側壁から40~10cm離れ、入口側短辺より5石を接して並べ、



第11図 再利用時以降の土器

上に、40~15cm大の石を右側壁に沿って短辺0.85m、長辺1.5mの長方形に組まれていた。入口側の短辺は後述する第2次埋葬時の石組(棺台)の石列上には平行して、大小4石の石を面をそろえて置いてあった。右長辺奥側の石ではなく、奥壁側左角部には土師器の中皿8が置かれていた。この石組は棺台として使用されていたと考えられる。

この時期、入口部には5~30cm大の石および土で閉塞していた。閉塞石の下には約10cmの埋土—黄褐色沙混り土(2.5Y5/6)—があり、敷石上面からは人骨片、鉄器、須恵器(床面出土遺物第IV群の一部—後述—)が出土した。その埋土の上に奥壁側から階段状に石材を積み上げて土を詰めており、その中から黒色土器の小片を検出した。

さらに2石をやや広げ間隔をあけて置いていた。短辺0.8~0.9m、長さ2.0mを測る。石は平坦面を上にしているものが多く、床面からの高さはそれぞれ異なるが、上面および上端部はO.P.84.25m前後でそろえていた。棺台は、右側壁側の石の下より鉄製品(28)を検出したことなどから、第2埋葬(追葬)時に据えられたものと考えられる。

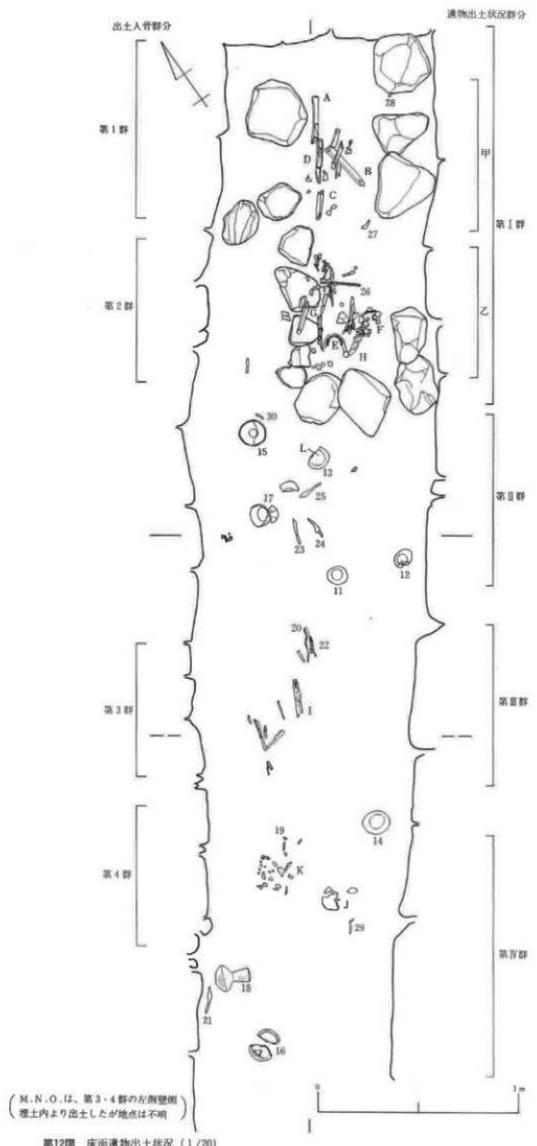
遺物はそれほど多くないが、床面全域にわたって検出した。出土地点から、棺台部(第I群)、棺台隣接部(第II群)、中央部(第III群)、入口側部(第IV群)の4ヶ所に大別することができる。第I群は棺台部で、人骨、鉄製品と炭が出土し、その状況からさらに2群(甲群・乙群)に細別することができる。遺物の遺存状態は極めて悪い。甲群(奥壁側)からは成人男性の左右の大腿骨A・Bと、右上腕骨D、成人女性の右大腿骨Cなどの人骨と鉄鎌27、刀子28などの鉄製品が出土した。乙群からは壯年後半(30代)の頭蓋骨F、下顎骨E、左脛骨G、右脛骨Hなどの多数の人骨と鉄鎌28と刀子、かすがいと思われる鉄製品が出土した。甲・乙群の骨はCを除き1個体分と考えられるが、頭蓋骨と下顎骨が離れ、これらの下から脛骨が出土していることなど、2次的に移動している。別個体であるCは、再利用時の棺台がほぼ同一場所の上部にあったことから、その時のものとも考えられる。

第II群は棺台の隣接地域であり、土師器(碗15、杯身11・12・13)、須恵器(高杯17)、鉄製品(鎌23・24・25、不明鉄器30)と若干の骨を検出した。骨は検出面が床面より高く、遺存状態も極めて悪く小片化していた。須恵器高杯と鉄製品は床面よりやや上で検出しておらず、移動した可能性が大きい。それに対し、土師器類はほぼ床面に接していたこと、石を置いて据えられていたことから、原位置を保っていたと考えられる。碗15はこぶし大の石3個を床面上に置き、その中に据えられており、杯身11・12はこぶし大の石を置き、底を斜め上に向けてそれにもたせかけていた。杯身13は一部欠損していたが、床面に接して置かれてあり、その中より上顎の右中切歯を検出した。第III群は石室中央部で、鉄製品(鎌20・22)と骨を検出した。いずれも床面より少し浮いた状態で出土し、原位置は全く保っていなかった。骨は遺存状態がかなり悪く、成人男性の左脛骨Iを確認したが、他は不明である。第IV群は最も入口側に位置し、ほとんどが再利用時に構築された閉塞石の下に埋れていた。この群からは須恵器(杯蓋14・杯身16・長頸壺18)、鉄製品(鎌19・21、かすがい29など)と骨が出土しており、全く原位置を保っていなかった。骨は2次的に移動しているとともに遺存状態が極めて悪く、小片化しているものが多い。ただ、20才前後(性別不明)の頭蓋骨J・7本の歯Kと別個体の2本の歯を確認した。また、第III・IV群の左側壁側埋土内から小児(12~15才)の歯3本が出土した。

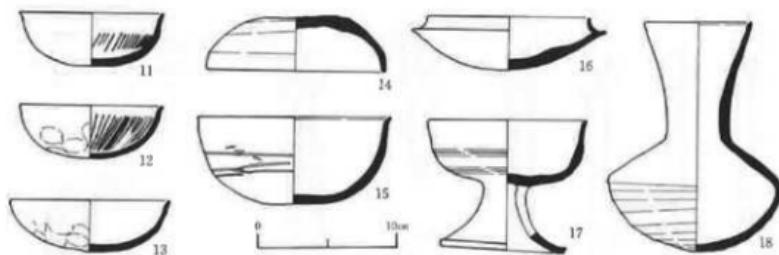
以上、検出状況とのちに詳述する遺物などから見て、床面上での埋葬は3回は行なわれたと思われる。第III・IV群と第I群の刀子などが第1埋葬時の遺物で、追葬(第2埋葬)時に入口方向などに移動させられたと考えられる。第I群と第II群が第2埋葬に伴うもので、第1埋葬時のものを移してから、棺台を据えて埋葬したものと思われる。

土器(第13図)

土器は須恵器の杯蓋、杯身、長頸壺、高杯、土師器の碗、杯身3個体の計8点であり、完形



第12圖 床面遺物出土状況 (1/20)



第13図 石室床面出土土器

または完形に復元しうるものであった。

須恵器

杯蓋(16) 天井部は扁平であるがそれほど広くなく、ゆるやかに口縁部に達している。口縁部は少し立たせているが、天井部との間に稜線はほとんどなく、端部を丸くおさめている。天井部外面の2/3を右まわりのロクロで回転ケズリ、他は回転ナデ調整している。

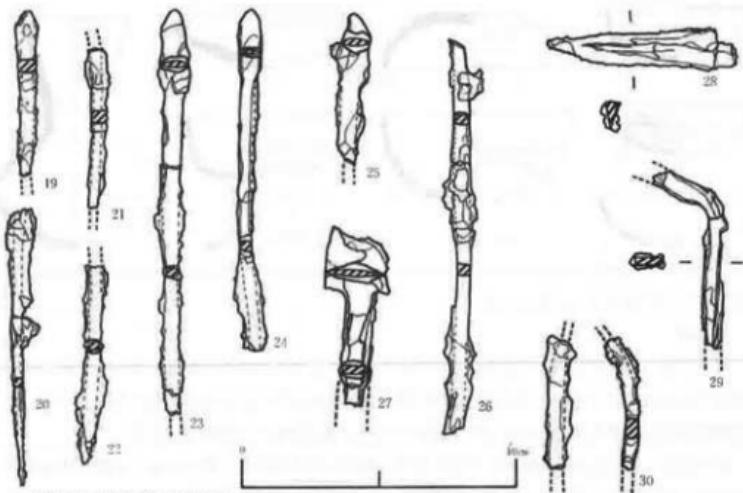
杯身(14) たちあがりは内傾して短く立ち、端部をやや尖くおさめている。受部はほぼ水平にのび、先端を丸く仕上げている。底部は丸く、安定性を欠く。底部外面は2/3近くを右まわりのロクロで回転ケズリ調整している。底部に1本のヘラ描き沈線がある。

長頸壺(18) 口・頸部は体部より極めてゆるやかに外反しながら長くのびあがり、端部を丸くおさめ、内側に段を有する。体部の肩はゆるやかに広がり、体部最大径は口頸基部より2/5にあり、底部を丸く仕上げている。口頸部から体部肩は回転ナデ、体部最大径部より底部は右まわりのロクロで回転ケズリ調整している。口頸部から体部肩にかけて、縦方向の1本のヘラ描き沈線がある。

高杯(17) 杯部は、体・口縁部がやや丸みをもった底部より内寄ぎみに高く立ち上がり、口縁端部を丸くおさめている。体部から底部上段にかけて4本の浅い沈線を施している。脚部は細く短い。3方向に細長い長方形透しがある。裾は大きく開き、端部は斜め上方にのびあがり面をなしている。全面、回転ナデ調整しており、杯部の口縁部から体部にかけて縦方向の1本のヘラ描き沈線がある。

土師器

杯身(11~13) 口径10.4cm、器高3.9cmを測るもの2(11・12)と、口径11.5cm前後、器高3.9cmを測るもの1(13)の3個体がある。いづれも胎土は緻密で、0.5~1.0mmの長石粒を含み、12・13にはチャート粒が見られる。焼成は良好で、色調は橙色を呈する。11・12は丸みをもった底部から内寄ぎみに立ち上がり、口縁端部は少し外反して丸くおさめている。底部外面にはユビオサエを残し、口縁部外面はヨコナデ、内面はナデ調整で丁寧に仕上げている。口縁部外面にはヘラミガキが見られ、内面には正放射状の暗文が施されている。13は器形が若干重んでいる。丸みをもった底部から内寄しながら立ち上がり、口縁端部を丸くおさめている。



第14図 石室床面出土鉄製品

底部外面ユビオサエ、口縁部内外面ヨコナデ、内面ナテ調整している。口縁部外面には粗いヘラミガキが見られる。

梅(15) 口径13.8cm、器高 6.2cmを測る。0.5~1.0mmの長石粒、チャート粒を若干含む、緻密な胎土である。焼成は良好で、色調は橙色を呈し、体部外面に黒斑が見られる。体・口縁部は、底面をやや扁平にした底部から内寄ぎみに高く立ち上がり、口縁端部を少し外反させてやや丸くおさめ、内面に浅い沈線を施している。体・口縁部内外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエのうち3方向へのヘラケズリ、内面ナテ調整で丁寧に仕上げている。体・口縁部外面にはヘラミガキが施されている。

鉄製品（第14図）

鉄製品は鉄鍔9、刀子1、かすがい1、不明鉄製品1などが出土した。

鉄鍔(19~27) 19~26は長頭式であり、27は短頭式である。19~22・26は笠被・茎部のみで鍔身は欠損していた。いづれも断面は隅丸の長方形を呈し、茎尻は長く尖らせており、若干木質部を残している。23~25は両丸造笠被鑿箭式で、鍔身は短く、両刃で断面レンズ状を呈し、ゆるやかに笠被部に統一している。27は笠被抜鋒両丸造三角形式である。鍔身は笠被より両側へ水平に広がり、両刃で断面はレンズ状をなす。鋒先部は欠損。笠被は断面長方形を呈し、茎部はほとんど欠損しているが一部木質が残っている。

刀子(28) 刀身残存部6.8cm、関部幅1.5cmを測る。棟は平棟で、断面は二等辺三角形を呈する。茎部は欠損していて不明。

かすがい(29) 両端部とも欠損しているため原形などは不明である。断面は長方形を呈し、

端部を大きく折り曲げている—約115°—。短辺部内側には横方向の木質が残っている。

不明鉄製品(30)両端とも欠損。断面は長方形を呈し、一端部はやや薄くなつて、ゆるやかに折れ曲り、端部近くは細くなつてゐる。

この他、第Ⅰ群より鉄鎌・刀子・かすがい、第Ⅲ・Ⅳ群より鉄鎌などの小片が出土している。

註(1) 後藤守一 「上古時代鉄鎌の年代研究」『日本古代文化研究』1942年によつた。

e. 出土人骨

無袖横穴式石室内の古墳時代後期の堆積層から、少なくとも4体分以上の人骨と歯が出土している。人骨はいずれも保存状態が不良なため、部位が同定できないものが多いが、歯の歯冠は比較的良く保存されている。

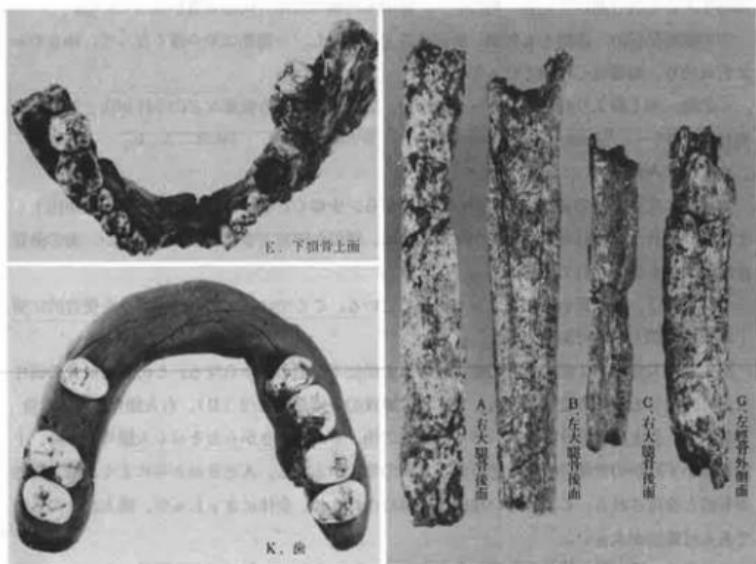
人骨と歯は、4箇所からまとめて出土している。ここでは、まとまりの各々を便宜的に第1から第4群と呼んでおく。

第1群の人骨は、7個の長骨の破片と数個の部位不明の小片からなる。このうち長骨の破片は、右大腿骨の骨体近位1/2(A)と、左大腿骨の骨体近位1/2(B)、右大腿骨の骨体近位1/4(C)、右上腕骨骨体中央部(D)の4片の他、その大きさからおそらく大腿骨、脛骨、上腕骨のいずれかの骨体の一部と思われる3個の骨片からなる。AとBはともに太く、成人男性のものと推定される。Cには軽い柱状性が認められるが、全体にきゅしゃで、成人女性のものである可能性が大きい。

第2群は、第1群と接した位置から出土しており、永久歯が釘植した下顎骨(E)と、頭蓋骨の破片(F)、左脛骨骨体中央部(G)、右脛骨骨体中央部(H)の他、部位が同定できない多数の長骨片からなる。これらのうちEには、歯槽が欠けている左右の切歯と右第3大臼歯を除くすべての下顎歯が釘植した状態で残存し、左第2大臼歯以外は歯冠が残っている。咬耗による象牙質の露出は、第1大臼歯では歯冠上面の2/3にわたってみられるが、第2大臼歯では点状で、第3大臼歯では咬耗はエナメル質内にとどまっている。これらのことから年齢は壮年の後半(30代)と推定される。性別は骨の大きさから男性のものと推定される。Fは、骨の厚さや出土位置から、Eと同一個体とみられる。GとHは太く、やや偏平である。

第3群の人骨は9個の長骨の破片からなるが、いずれも保存状態が不良で、同定できたのは左脛骨中央部の1個だけ(I)である。この骨は大きさからみて成人男性のものである可能性が大きい。

第4群は主に頭蓋骨(J)と一連の歯(K)からなる。頭蓋骨は、脳頭蓋部のうち、頭頂骨および側頭骨の破片からなるが、左右は判定できない。歯は、上顎の右第2小臼歯、第2、第3大臼歯と左第2小臼歯から第3大臼歯までが残存する。咬耗は、第2小臼歯と第1小臼歯では点状に象牙質が露出するが、それ以外の歯ではエナメル質内にとどまつており、これらのことから年齢は20歳前後と推定される。性別は判定できない。なお、この他に、右上顎大臼歯2個と左上顎小臼歯1個が存在するが、いずれも咬耗がほとんど認められず、明らかにKとは別個体に属する。



第15図 石室出土人骨

これらの人骨群の他、第2群よりやや入口よりの土器内から、上顎の右中切歯の歯冠近心部（L）が検出され、また石室の入口に近い部分の埋土内からは、おそらく左上顎大臼歯の一つと思われる歯冠（M）と、右第3大臼歯（N）、左第1あるいは第2大臼歯の歯冠（O）が検出されている。いずれの歯にも咬耗は殆ど認められず、Nは末萌出で、歯冠のみが形成されており、12歳から15歳の小児のものと推定される。Oが第2大臼歯だとすると、比較的近い地点から出土したM、N、Oはすべて同一個体に由来する可能性がある。

第1群と第2群とは出土地点が近く、A、B、E、F、G、Hは人骨の特徴からみても同一個体の成人男性のものである可能性が大きいが、Cはこれらとは明らかに別のおそらく女性の個体に属する。第3群のIは第1群のGと同一部位であるから両者は互いに異なるおそらく男性の個体に属する。第4群のJとKは出土状態からみて同一個体のものと考えられ、また、Iとも同一個体である可能性がある。したがって、被葬者には少なくとも、壮年後半の男性、これとは別の成人男性、成人女性、小児の計4個体が含まれることになり、成人の1体は20歳前後である。このうち、最も多くの骨を残していると考えられるのは、第1群と第2群にまたがる壮年後半の男性で、頭を石室の入口の方に向けて埋葬されていたものと考えられる。ただし、左右の脛骨（GとH）は、もしこの個体に由来するとすれば、原位置から動いていたことになる。

（多賀谷 昭）

f. 墳丘出土の甕

前述したように、墳丘の一部がかろうじて残存していたのは石室の東南地域のみであった。その残存部分から、底部を穿孔した須恵器の小型の甕を検出した。甕は石室の主軸から東南2mの所から出土し、検出面での径33cmのピット内に据えられていた。体部上段から口縁部にかけては壊れて、ほとんどが中に落ち込んでいた。

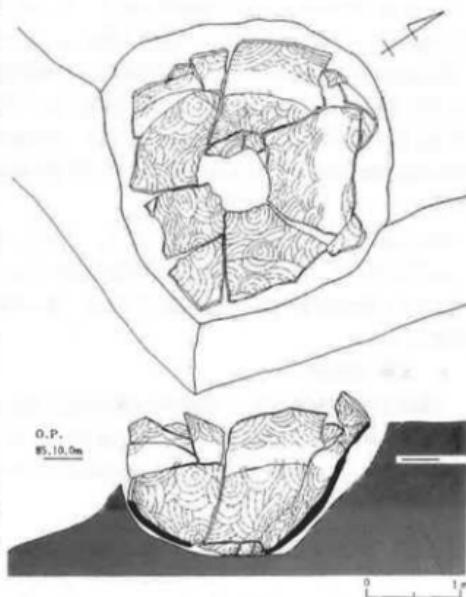
試掘調査のとき、石室の北東約1.5mの第3層内から多量の大甕片が出土していた。原位置を保っていなかったが、石室北東部の墳丘上には大甕が据えられていた可能性が大きい。これらの甕はとともに、墓上祭祀に伴うものと考えられる。

須恵器甕(31) ゆるやかに外反する短い口頸部を有す。端部は外方へ屈曲させ、断面方形に肥厚し、その下部に一条の浅い沈線をめぐらしている。体部外面は平行叩き、内面は同心円叩きを施している。内面の叩きは腹部をすり消している。底部には最大径8cmの不定円形の孔が、焼成後に穿たれていた。

4. 第24号墳

a. 遺構

23号墳の東5mに位置する所から敷石遺構を検出した。敷石は第9層上面で検出し、長辺1.3m、短辺0.65mのやや不整形の長方形土壙内に、20~8cm大の石を敷きならべていた。敷石周辺部はほとんど削平されていたため、周囲の状態ははっきりしないが、南東部隅部でわずかに石のぬき跡を検出し



第16図 墳丘出土の甕実測図 (1/6)



第17図 甕実測図

したことから、敷石のまわりには石が立てならべていた可能性があり、小石室を形成していたと考えられる。敷石は北・東と南西隅部にやや大きな石があり、中央部と西北部にはこぶし大の石が見られた。のことから敷石は周囲から置きならべ、中央部で調節したと思われる。

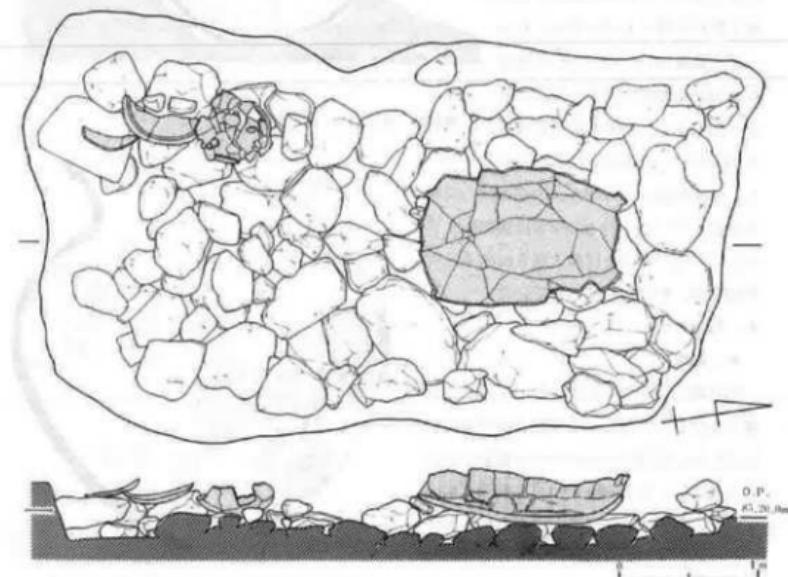
敷石の長軸はN-22°-Eであり、北よりの所に土師器の長胴35がほぼ水平に横たえられていた。甕の口縁部は使用時にすでに打ち欠かれていたと思われ、欠損していた。胴・底部は半分以上が後世の削平によって削り取られていた。南西隅には須恵器の杯蓋32、杯身33と土師器の壺34が置かれていた。これらの土器は、埋葬に伴い供獻されたと考えられる。土器は削平などにより、かなりの部分が欠損していた。

敷石上面近くまで、ほとんど削平されていたことから、本古墳に伴う墳丘は全く確認することができなかった。調査途中時には、23号墳の裾部の第2主体部とも考えたが、立地状態や前述する出土遺物などから見て、23号墳より先行して築造されていたと思われ、別古墳として24号墳とした。

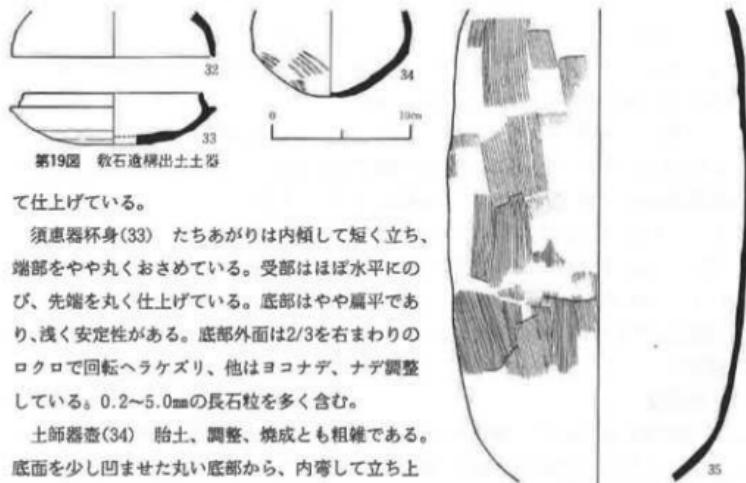
b. 土器（第19図）

土器は須恵器の杯蓋・身、土師器の壺・甕が出土している。

須恵器杯蓋(32) 天井部と口縁部の境は明瞭でなく、丸くながらかなカーブを描いており、口縁端部を丸くおさめている。天井部外面は回転ヘラケズリ、口縁部外面はヨコナデによっ



第18図 敷石遺構 (1/10)



て仕上げている。

須恵器杯身(33) たちあがりは内傾して短く立ち、端部をやや丸くおさめている。受部はほぼ水平にのび、先端を丸く仕上げている。底部はやや扁平であり、浅く安定性がある。底部外面は2/3を右まわりのロクロで回転ヘラケズリ、他はヨコナデ、ナデ調整している。0.2~5.0mmの長石粒を多く含む。

土師器壺(34) 胎土、調整、焼成とも粗雑である。

底面を少し凹ませた丸い底部から、内寄して立ち上がる。中央部で最大径(11.5cm)をなし、内傾して口縁基部に至る。底部外面は平行叩きののち粗くナデ調整しており、内面もナデ調整を施しているが明瞭にユビオサエが残っている。胎土は0.2~9.0mmの長石粒をはじめ金雲母、黒雲母などの砂粒を多く含み粗い。焼成はあまり、色調は赤褐色を呈する。

土師器甕(35) 体部は丸みをもつ底部よりややふくらみをもちながらほぼまっすぐに立ち上がり、上段を少し内傾させて頸部に至る。口縁部は外上方に立ち上がる。体部外面はほぼ全面に縱方向のハケ目を施している。内面は右斜上方向にナデ調整しているが、ユビオサエが明瞭に残っている。体部と底部に黒斑が見られる。胎土は0.2~7.0mmの長石をはじめ黒雲母などの砂粒を含み、やや粗い。焼成は良好で、色調は外面にぶい橙色、内面にぶい褐色を呈する。

6.まとめ

花草山23・24号墳の調査は、花草山古墳群での本格的な発掘調査としては最初のものである。「河内四條史」などに古墳の分布状況、各古墳の概要が記されており、これまで、踏査、調査はくりかえし行なわれてきたが、古墳群の形成時期、埋葬状況など、その詳細について知る手掛りはほとんどなかった。以下、今回の調査で明確になったことを記すこととする。

I. 23号墳

- a. 本墳の築造時期は出土遺物などから7世紀前半と考えられる。
- b. 本石室を利用した埋葬は、追葬、再利用を含めて4回はあったことが確認できた。
- c. 第1埋葬は、それに伴う遺物で原位置を保っているものは全くなく、人骨を含めほとんどのものが石室中央部から入口方面に追いやられて散乱した状態で出土した(第III・IV群)。
これらの遺物のうち須恵器はTK 217型式にはほぼ相当する。

- d. 第2埋葬（追葬）は奥壁部側に棺台を設けて埋葬していた。人骨は遺存状態が悪かったが、ある程度まとめて出土した。棺台の前には土師器などが置かれており、その型式から7世紀第II四半期ごろと考えられる。土師器杯13の中から1本の齒（上顎の右中切歯L）が出土しており、当時の葬送習俗の一端を知る資料といえよう。
- e. 小児の歯が3本出土しているが、その埋葬状態については不明である。
- f. 再利用は、土が床面より約10cm埋った10世紀代に行なわれた。第2埋葬時の棺台の上にはほぼ同規模の棺台を設け、埋葬したのち閉塞したと考えられる。
- g. 出土人骨は、骨と歯の鑑定から4体分以上が確認された。
- h. 墳丘からは、主体部の東南部で底部穿孔の須恵器甕が出土し、北東部にも大甕を据えていたと考えられ、墓上祭祀に伴うものと思われる。
- i. 墳丘はほとんど削平されていて、墳丘の形態・規模は不明である。しかし石室の規模・立地状態などからみて、8～9mの円（？）墳と考えられよう。

II. 24号墳

- a. 主体部は敷石を施した小石室であったと思われ、7世紀前半に築造されたと考えられる。
- b. 敷石上からは、土器棺と思われる土師器の甕・供獻と考えられる須恵器の杯身・蓋・土師器の甕が出土した。須恵器はTK 217型式にはば該当する。東大阪市では皿池遺跡で小石室に伴う土器棺・羽釜と甕の合口を検出しており、墓尾古墳群・鬼虎川・神並・出雲井遺跡からも甕・羽釜を使用した土器棺が出土している。⁽¹⁵⁾
- c. 墳丘はほとんど削平されていて不明。

以上、23・24号墳の概要を記した。両古墳とも7世紀の前半に築造されたと考えられる。しかし、出土した須恵器（TK 217型式相当）の形態は23号墳の方が若干新しい様相を呈しており、立地状態などから見ても24号墳の方が先に築造されたと思われる。

花草山古墳群は、前述の15・16号墳や今回の23・24号墳を含めても9基の石室が知られているだけである。15・16号墳などは出土遺物・石室の形態から、6世紀の中・後半に築造されたと考えられ、本古墳群は6世紀中・後半から7世紀前半にかけて形成され、7世紀中・後半まで使用（再利用除く）されていたものと思われる。

註

- (1) 黒田昭次・藤井直正編『考古資料』『河内四條史 第二冊 史料編』 1977年
(2) 田辺昭三『須恵器大成』 1981年
(3) 「小野田古墳地の調査」（奈良文化財研究所『飛鳥・藤原宮発掘調査報告』1976年）のC類にはほぼ相当する。
(4) 吉村博志「林内出土の衛—古代葬送習俗の一端—」『東大阪市文化財協会ニュース』Vol.1, No.3 1987年
(5) 芦木隆裕『瓜生堂上野遺跡・皿池遺跡発掘調査報告』 1979年
(6) 上野利明「宅地造成工事に伴う藤尾古墳群周辺地の試掘調査」「調査会ニュース』No.1・12 1979年
下村晴文「鬼虎川遺跡出土の羽釜新資料」『東大阪市文化財協会ニュース』Vol.1, No.1 1986年
曾我恭子「神並遺跡」 1986年
中西克宏「枚岡神社境内出土の羽釜」『東大阪市文化財協会ニュース』Vol.2, No.4 1987年

第3章 出雲井遺跡第4次調査

1. 遺跡の概要

生駒山の西斜面に位置する東大阪市出雲井町・出雲井本町・五条町には、横穴式石室を有する円墳14基よりなる古墳時代後期の群集墳が存在する。これらは地名を冠して出雲井古墳群と呼称されている。

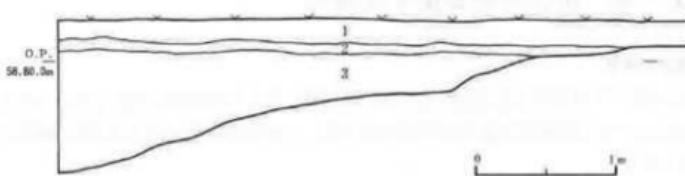
出雲井古墳群における調査は、昭和58年度に実施した第4・5号墳を中心とする試掘調査にはじまる。⁽¹⁾ 本格的な発掘調査は、昭和60年に枚岡神社内に所在する第7号墳を対象としてはじめて実施された。その結果、半壇状態の横穴式石室の玄室床面より鉄刀・鉄鎌・金環・須恵器・土師器などが組み合わせ式石棺の破片と共に出土した。⁽²⁾ 同年の10月から翌年3月にかけて、五条町9番地を中心とするマンション建設予定地約3589m²を対象として第3次調査が実施され、地表に石室が露出している既知の古墳のほかに、棚田の下に半壇状態で埋れた古墳3基があらたに検出された。これらの古墳からは前記と同様の副葬品が出土し、また古墳内とは別の地点より6世紀代の製塙土器、中世の火葬土壙墓、中世末～近世初めの井戸・柱穴などが検出された。⁽³⁾ その結果、付近一帯は出雲井遺跡として周知されることになった。

註

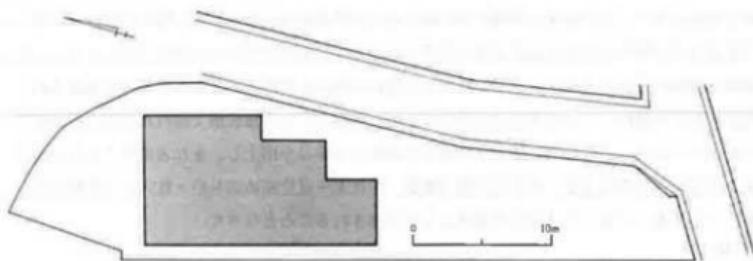
- (1) 「出雲井古墳群の調査」『馬場達蔵・鬼塚道蔵・出雲井古墳群発掘調査概要』東大阪市教育委員会 1984年
- (2) 「出雲井7号墳発掘調査」『東大阪市埋蔵文化財調査概要 1985年度』東大阪市教育委員会 1986年
- (3) 「出雲井古墳群現地説明会資料」(財)東大阪市文化財協会 1986年3月15日



第20図 古墳の分布と調査地点 (1/5000)



第21図 調査地北壁断面図 (1/20)



第22図 調査地位置図 (1/300)

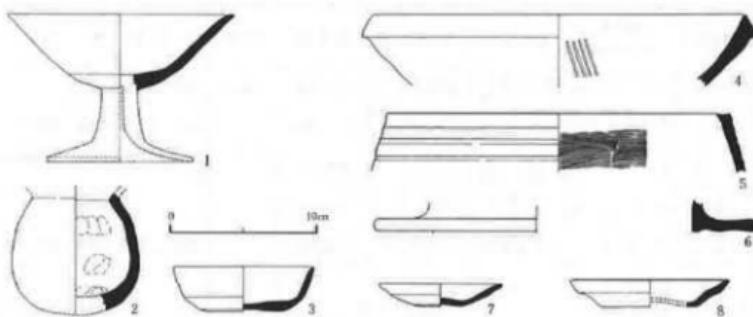
2. 調査の結果

東大阪市五条町53番地において、昭和62年7月28日から8月4日まで第4次調査を実施した。住宅建設予定地約130m²を対象として開始し、盛土および第1層耕土を機械によって掘削した後、第2層床土以下を人力によって掘削した。

調査地の東半部は発掘を開始して間もなく耕土直下に地山と考えられる疊層（第4層赤褐色粘土・シルト混り砂疊層）があらわれた。この疊層の上面は削平されていたが、これは棚田を形成する際に調査地東部を削平し、削り取った土で調査地西部を嵩上げしたことによる。調査地西部では、第4層は急速に高度を減じ、調査地西壁部分と調査地東部平坦部分との比高差は約1mを測る。この傾斜面は自然地形を示すものである。自然地形は東から西へ下降すると共に、北から南へもゆるやかに下降している。調査地東半部の第4層の上には、棚田を形成した際の客土層とみられる第3層灰褐色細疊混り粘土質シルト層が傾斜面を覆って平坦にしている。

遺構は何ら検出されなかったが、遺物は第3層より6世紀代の須恵器・土師器の破片と瓦器・土師器・青磁などの中世土器あるいは瓦器焼消滅以後の近世初頭に下る土師器小皿などがいずれも2次的な堆積の状態で出土した。

古墳時代の遺物としては、土師器高杯1・土師器壇2・須恵器杯3・須恵器高杯脚部などが認められる。1は大きく外上方に開く杯口縁部をもつ。灰白色（2.5Y8/2）を呈し、クサリ疊を多く含む胎土から非河内産と見られる。脚部を欠くが、杯底部に擬口縁を認める特徴から、



第23図 出土遺物

この高杯の製作は先に半乾燥の状態となった脚部上縁に杯部粘土を積み上げて成形したことが知られる。2は器体下部に重心をもつ丸底の胴部から「く」の字に外反する口縁部が付く壇。胴部は内外とも凹凸を残す粗雑な仕上げである。赤褐色(5YR4/6)を呈し、角閃石粒を多量に含む特徴は河内産を示している。3は回転ナデ仕上げ、底部ヘラ切りの杯身。灰白色(N7)を呈する。これらの他に羽釜6は赤褐色(5YR4/4)を呈し、角閃石を多量に含む粘土から奈良時代のものと思われる。鋤の下面に煤が付着している。

4・5・7・8は中世末あるいは近世初めと考えられるもの。4は内面に放射状のクシ目を施す摺鉢、赤灰色(2.5YR4/1)を呈する。5は瓦質の羽釜。内傾する口縁部の外面には凹線、内面には目の細かいヨコハケ(11本/cm)が行なわれている。灰色(N6)を呈する。7・8は土師器の小皿で共に底部の中央が凹む特徴をもつことから、瓦器碗が消滅した後の型式と考えられる。他に明代のものと思われる青磁碗の破片が1点みられる。

3.まとめ

1. 本調査地は中世末～近世初めの集落跡とみられる出雲井遺跡内に位置するが、調査の結果遺構は検出されなかった。
2. 調査地の自然地形はもともと東から西にかなりの割合で下降する傾斜面であったが、これを近世初めに棚田状に整地したことが明らかとなった。
3. 遺物には、古墳時代の須恵器・土師器・中世末の瓦器・土師器・陶器・青磁、近世初めの土師器などが出土した。このうち古墳時代に属するものは隣接する出雲井古墳群に伴うものが流れ込んだと考えられ、中世末～近世初めに属するものは周辺の出雲井遺跡よりの流れ込みと考えられる。
4. 棚田の形成時期が今から約300年前の近世初めに遡ることから、付近一帯には上部を削平された古墳が棚田の下に埋れている可能性はある。

昭和62年度市域調査(予定)一覧表

| No | 地名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|----|-------------|---------------|------------------------|-------------------------------|-------|-----|--------------------|
| 1 | 北島池 | ゼネラル石油㈱ | 鉄骨造2階建 タンク埋設工事 | 若草町9-16 | 発掘調査 | 市教委 | 遺構・遺物、検出せず |
| 2 | * | 東大阪市水道企業管理者 | 消防栓設置工事 | 下六万寺町3丁目1239番先 | 立合い調査 | * | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 3 | 若江 | 山土茂 | (事務所)鉄骨造 3階建バタ屋敷 | 若江町4丁目 72-8,9,10 | 発掘調査 | * | GL-37cmで中世包含層遺構を検出 |
| 4 | (遠隔外) | 由井正剛 | 土木建築工事 (仮設建設) | 古田島之内 12-1 | 試掘調査 | * | |
| 5 | 正興寺山 | 田村太一 | 木造2階建住宅 | 東石切町3丁目 1069-13 | 発掘調査 | * | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 6 | * | 牧野孝治 | * | * | * | * | * |
| 7 | 岩滝山 | 郡波幸子 外3名 | | 六万寺町1丁目 788-1 | 試掘調査 | * | GL-20cmで中世包含層遺構検出 |
| 8 | 水走 | 大砂古繁 | 木造2階建住宅 | 川中町895-3 | 立合い調査 | * | |
| 9 | * | 佛證寺代表役員 | 建築工事 (寺院建替) | 今樂218 | 発掘調査 | * | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 10 | * | 東大阪市水道企業管理者 | 上水道 配水管布設 | 水走202-224-1 | 立合い調査 | * | * |
| 11 | 岩滝山 | 河村圭治 | 木造2階建住宅 | 六万寺町1丁目 896-4,894-3 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 12 | 斧刀 | 門之園工務店㈱ | (SW造3階建) 分譲住宅新築工事 | 近江町1丁目 534-22 | * | * | |
| 13 | 衣掛 | 花岡克之 | R.C造3階建ビル | 衣掛5丁目 98-3,-6 | 発掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 14 | 上小坂 | 小林貞雄 | 木造2階建住宅 | 若江西新町 4丁目12-1 | 立合い調査 | * | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 15 | (遠隔外) | 中川正雄 | 土木・建築工事(新 住宅3棟+4階建) | 日下町5丁目 1268-1の一部 | 試掘調査 | * | * |
| 16 | 瓜生堂 | 市長北川謙次 | R.C造地3階 +地下2階建 | 若江西新町 1丁目7 | 発掘調査 | * | |
| 17 | 網手 | 双葉住宅㈱ | 鉄骨造3階建 共同住宅 | 末広町806-2 | * | * | GL-95cmで古墳時代包含層検出 |
| 18 | 福田山 古墳群 | 高木伸治 | 木造2階建住宅 | 山手町2128- 5,-6 | 立合い調査 | * | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 19 | みかん山 古墳群 | 上田桂子 | * | 山手町239-1,-2 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 20 | 神並 | 三陽建設㈱ | 軽量鉄骨造 1階建倉庫 | 東山町1194 | * | * | |
| 21 | 鬼塚 | 澤田工務所㈱ | S造1階建倉庫 | 箱崎町633-6 | * | * | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 22 | 鬼虎川 | 中西俊彦 | 軽量鉄骨造 2階建住宅 | 弥生町 134-1,2226-1 | * | * | |
| 23 | 西岩田 | 日新日産モーター㈱ | 建築工事 | 西岩田町4丁目 151-4 | 試掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 24 | 神並 古墳群 | 高地博 | 木造2階建住宅 | 上石引町1丁目 1223-13 | 立合い調査 | * | * |
| 25 | 水走 | 田中克己 | 鉄骨造工場 | 水走328-1,-3(226 街区9-1,92番号) | * | * | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 26 | 皿池 | ミヤマ㈱ | 木造2階建ワン ルームマンション | 喜多川町93-6 | 発掘調査 | * | * |
| 27 | 鬼塚 | 東大阪市水道企業管理者 | 配水管布設工事 | 箱崎町458~459 | * | * | * |

| No | 調査名 | 届出者 名(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|----|------------|------------------|-----------------------|---------------------|-------|-----|----------------------------|
| 28 | 新家 | コマダ 錦 | 鉄骨造2階建 事務所 | 新家東52-4-9 | 発掘調査 | 市教委 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 29 | 水走 | 巽 日 吉 | 4階建ビル 事務所 | 水走283-1 (351-12) | # | # | 遺構・遺物検出せず |
| 30 | 芝ヶ丘 | 笠井 弘 美 介 | 軽量鉄骨造 2階建住宅 | 日下町2丁目 1684-7 | 立合い調査 | # | |
| 31 | 姫江寺跡 | 岡 部 政 春 | * | 姫江109-1 | # | # | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 32 | 若宮 古墳群 | 井 上 順 | 木造2階建住宅 | 東山町977-5 | # | # | G L-75cmで中世包含層検出 |
| 33 | 加納 | 藤井 康 業 (印) | 建築工事 | 川中454 | 試掘調査 | # | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 34 | 神並 | 河 村 興 治 | 木造2階建 長屋住宅 | 東石切町1丁目 903-1,-4 | 立合い調査 | # | 遺構・遺物検出せず |
| 35 | 出雲井 古墳群 | 遠 山 文 雄 | 木造3階建住宅 | 五条町8-2 | # | # | * |
| 36 | 鬼塚 | 中川 富 士 男 | 木造2階建 住宅構築 | 南町458-15 | # | # | |
| 37 | 神並 | 岸 本 廣 次 | 木造2階建住宅 | 西石切町1丁目 41-2 | # | # | |
| 38 | 芝ヶ丘 | 馬 場 植 郎 | 鉄骨造ガレージ | 中石切町4丁目 2501-5 | # | # | |
| 39 | 五合田 | 上 野 卓 一 | 木造2階建住宅 | 北広町820-3 | # | # | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 40 | 芝ヶ丘 | 橋 見 孝 埼 | 軽量鉄骨造 2階建住宅 | 北石切町1850-8 | # | # | * |
| 41 | # | 井 上 雅 博 | 鉄筋系大型スキン パネル式2階建住宅 | * | # | # | * |
| 42 | (遺跡部) | 剣 鈴 学 会 (札幌所) | 建築工事 | 吉田8丁目1-7 1-8 | 試掘調査 | # | 遺構・遺物検出せず |
| 43 | 芝ヶ丘 | 野 田 邦 雄 | 木造2階建住宅 | 北石切町2243-21 | 発掘調査 | # | * |
| 44 | 西ノ辻 | 寺 西 定 治 郎 | 鉄筋コンクリート造 3階建駐車用住宅 | 西石切町3-151 | # | # | G L-94cmで勞生時代中期包含層 遺構検出 |
| 45 | 法通寺跡 | 石 田 弘 | 木造2階建住宅 | 東石切町1丁目 715-5 | 立合い調査 | # | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 46 | 水走 | 仲 田 卵 一 | 鉄骨造4階建基 礎建設(事務所) | 吉田船場50-2 | # | # | * |
| 47 | 花菖山 古墳群 | 日 昭 開 座 (印) | 土木・建築工事 | 上四条町1225 | 試掘調査 | # | G L-20cmで中世の包含層遺構検出 |
| 48 | 瓜生堂 | 難 波 繁 三 | 2階建住宅 | 下小坂5丁目 34-38 | 立合い調査 | # | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 49 | 西ノ辻 | 末 谷 久 雄 | 木造2階建住宅 | 東山町1582-8 -17 | # | # | |
| 50 | 鬼虎川 | 糸 岡 錦 | RC造5階建 住宅 | 西石切町7丁目 192-9 | 発掘調査 | # | 遺構・遺物検出せず |
| 51 | 若宮 古墳群 | 筒 井 達 子 | 木造2階建住宅 | 東山町977-5 | 立合い調査 | # | G L-75cmで中世包含層検出 |
| 52 | 植 附 | 西 川 浩 夫 | 建築工事 | 西石切町 3丁目99 | 試掘調査 | # | G L-60cmで鎌倉時代包含層検出 |
| 53 | 久宝寺 | 和 田 征 雄 | 鉄骨造 3階建住宅 | 大通町2丁目 453-9 | 立合い調査 | # | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 54 | 西 堀 | 永 和 住 宅 (印) | 4階建分譲住宅 | 藤戸新田町53-1 | # | # | 遺構・遺物検出せず |

| No | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|----|------------|----------------|--------------------|--------------------------------|-------|-----|----------------------|
| 55 | 船山 | 城戸産業㈱ | 分譲住宅建築 | 六万寺町3丁目 1037-1 | 立合い調査 | 市教委 | GL-57cmで弥生時代後期包含層検出 |
| 56 | 芝ヶ丘 | 〃 | 木造2階建住宅 | 北石切町 2198-31 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 57 | 灰井東 | クド一郎 | 鉄骨造5階建 倉庫・住宅 | 金物町6-7 | 発掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 58 | 五合田 | 森田清夫 | 木造2階建住宅 | 東広町81レ-9 | 立合い調査 | 〃 | |
| 59 | (遺跡外) | 村尾商業㈱ | 土木・建築工事 | 長田中1丁目 47,48,49,50,51 | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 60 | 黒池 | サカダチ商店㈲ | 鉄骨造3階建 販賣住宅 | 同上街446-1 447-1 | 発掘調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 61 | 狐塚 | 富松高久 | 木造2階建住宅 | 出雲町本町 186-3,187-3 | 立合い調査 | 〃 | 〃 |
| 62 | 〃 | 鳥居輝雄 | 鉄骨造平屋建 住宅 | 喜留川町124-2 | 発掘調査 | 〃 | GL-37cmで鎌倉時代包含層検出 |
| 63 | 鬼塚 | 西口新次 | 鉄骨造2階建 販店舗付住宅 | 若菜町275-4 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 64 | 芝ヶ丘 | 西小路雄幸 | 鉄筋コンクリー ト造2階建住宅 | 中石切町2丁目 2019,2020-1 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 65 | 〃 | 丹生好人 | 木造2階建住宅 | 北石切町2263-7 | 立合い調査 | 〃 | 〃 |
| 66 | 柏葉 | 友和興産㈱ | 分譲住宅 木造2階建 | 吉田春日153-29 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 67 | 辻子谷 | 阪本清 | 木造2階建住宅 | 東石切町302 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 68 | 鬼塚 | 合同鉄神㈱ | 鉄骨造2階建工場 | 南莊町124-1, 124-4,125-1 | 発掘調査 | 〃 | GL-50cmで古墳時代中期の包含層検出 |
| 69 | 豊浦谷 古墳群 | 森川純季 | 木造2階建住宅 | 豊浦町1176-6 | 立合い調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 70 | 水走 | 大東運輸㈱ | 土木・建築 (土地売買) | 吉田船橋36 | 試掘調査 | 〃 | 〃 |
| 71 | 久宝寺 | 高橋工務店 | 3階建飲食店一部木 造営用住宅 | 大蓮東4丁目 178-15 | 発掘調査 | 〃 | |
| 72 | 五重山 古墳群 | 打越照夫 | 木造2階建 (建設住宅) | 上六万寺町1800 他21棟 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 73 | 菩提寺山 | 東洋生興㈱ | 木造2階建住宅 | #根津町4丁目B06- 17,876-16の一部 | 立合い調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 74 | 西岩田 | 関西電力㈱ 大阪南支店 | 地中電線路管 設置 | 前田3丁目-8番8号 坂守町新規地 | 試掘調査 | 〃 | 古墳時代の包含層検出 |
| 75 | 北星敷 | 杉本泰男 | 鉄骨造1階建住宅 (ガレージ) | 横小路町3丁目 1-29 | 発掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 76 | 芝ヶ丘 | 秋田工務店㈱ | 木造2階建住宅 | 北石切町1919 -3,-4 | 立合い調査 | 〃 | |
| 77 | 山畠 古墳群 | 杉浦豆 | 木造2階建住宅 | 寺坊町963-4 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 78 | 足立氏 館跡 | 三宅立志 | 木造3階建住宅 | 宿根寺町6丁目 58-3 | 〃 | 〃 | |
| 79 | 水走 | 川中正彦 | R.C造6階建 (共用住宅) | 川中町355番地25-25 番号3,3,10,11番地 | 〃 | 〃 | 遺構遺物検出せず |
| 80 | 西ノ辻 | 福堀多喜祐 | 木造1階S造 赤瓦付住宅 | 恵生町1408-7 | 発掘調査 | 〃 | GL-37cmで弥生時代中期の包含層検出 |
| 81 | (遺跡外) | 出口安次郎 | 建築工事 | 表張1丁目 1018-2,3 | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |

| No. | 遺跡名 | 調査者 ※(依頼者) | 調査の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-----|--------|---------------|------------------|---|-------|-----|------------------------------|
| 82 | 水走 | 杉山光正 | 鉄筋コンクリート造4階建共団住宅 | 三日市町1丁目1番地(三日市地区40番地)1-1号(面積約46.7m ²) | 発掘調査 | 市教委 | 遺構・遺物検出せず |
| 83 | 出雲井古墳群 | 有田永次郎 | 木造2階建住宅 | 喜留川町31-2-31-3 | 立合い調査 | * | |
| 84 | 西ノ辻 | 中川守之助 | * | 東山町1444 | * | * | 廻削の深さには遺構・遺物なし |
| 85 | 券刀 | 山田正一 | 倉庫建築(2階建) | 源氏町127-3 | * | * | |
| 86 | * | 三山雅史 | RC造5階建共団住宅 | 近江塩1丁目272 | 発掘調査 | * | G.L.-80cmで中世の包含層検出 |
| 87 | コモ田 | 日興建設㈱ | 木造2階RC造3階建長屋住宅 | 六万寺町2丁目409-4,-5 | * | * | |
| 88 | (遺跡外) | 増田組㈱ | 不動産充質 | 吉田町153(149街K、5号付) | 試掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 89 | * | 末吉利一 | 建築工事 | 今木15-1 22-1 | * | * | * |
| 90 | 辻子谷古墳群 | 川端 姫 | 木造2階建住宅 | 上石切町1丁目1308 | 立合い調査 | * | 廻削の深さには遺構・遺物なし |
| 91 | 鬼虎川 | 吉川義夫 | 鉄骨造1階建住宅 | 宝町1706-1,1707-1, 1708-1の1号 | 発掘調査 | * | * |
| 92 | 久宝寺 | 和田正一 | S造3階建住宅 | 大瀬南2丁目417-57 | 慎重に実施 | - | - |
| 93 | 半堂 | 日興建設㈱ | 分譲住宅建築 | 六万寺1丁目359-1 | 発掘調査 | 市教委 | 廻削の深さには遺構・遺物なし |
| 94 | 上小阪 | 藤井チヅエ | 鉄骨2階建共団住宅 | 東上小阪625-1の1部、626-1の1部 | * | * | |
| 95 | 西ノ辻 | 竹中愛和 | 鉄骨4階建共団住宅 | 西石切町3丁目170 | * | * | G.L.-218cmで中世の包含層検出 |
| 96 | 西根寺山 | 日高正己 | 木造2階建住宅 | 吉根寺町5丁目876-16 | 立合い調査 | * | G.L.-60cmで円筒瓦輪を含む古墳時代後期包含層検出 |
| 97 | 西ノ辻 | 太田茂一 | 木造2階建住宅 | 南丘町1598-1 | * | * | |
| 98 | 半堂 | 貴島進隆 | 木造2階建住宅 | 樋小路町1-64 | * | * | 廻削の深さには遺構・遺物なし |
| 99 | 額寺町 | 向井義雄 | 木造2階建店舗付住宅 | 東山町707-1 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 100 | 久宝寺 | 小川清 | 木造2階建住宅 | 大瀬南2丁目346-41 | * | * | |
| 101 | * | * | * | 大瀬南2丁目346-12 | * | * | |
| 102 | 純手 | 馬所正勝 | 鉄骨造3階建共団住宅 | 東広町806-12の1部 | 発掘調査 | * | 廻削の深さには遺構・遺物なし |
| 103 | 福壽 | 市長北川謙次 | 公共下水道工事 | 福第2丁目地内 | * | * | |
| 104 | 岩田 | * | * | 若田町6丁目地内 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 105 | 瓜生堂 | * | * | 若江西新町1丁目~2丁目 | * | * | G.L.-175cmで古墳時代の包含層検出 |
| 106 | 芝ヶ丘 | 小松延行 | 軽量鉄骨造2階建住宅 | 中石切町2308、 2307の1部 | 立合い調査 | * | 廻削の深さには遺構・遺物なし |
| 107 | 河内寺 | 宮島里枝 | 木造2階建住宅 | 河内町678-4 | * | * | * |
| 108 | 若江 | 白山義春 | 鉄骨造3階建住宅 | 若江本町4丁目941-3 | 発掘調査 | * | G.L.-20cmで中世の包含層を検出 |

| No | 遺跡名 | 届出者 名(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-----|-------------|-----------------|------------------------|--|-------|-----|---------------------------------|
| 109 | 水走 | 谷垣金蔵 | 鉄骨造3階倉庫 | 水走329 226番区2 | 立合い調査 | 市教委 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 110 | (遺跡外) | バラツィーナ㈱ | 土木・建築工事 | 御前堂町2丁目 65-1,66-9の1番 | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 111 | 浄土寺谷 古墳群 | 山洋興産㈱ | 鉄骨造3階建地下 1階建共同住宅 | 六万寺町1丁目 300-1 | 発掘調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 112 | 芝ヶ丘 | 高橋紀義 | 木造2階建住宅 | 北石切町252 -5,-31 | 立合い調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 113 | 瓢箪山 古墳 | 森田廣樹 | 店舗付共同住宅 | 瓢箪山町99-5 99-19 | 発掘調査 | 〃 | 〃 |
| 114 | 弥刀 | 市長北川謙次 | 市立弥刀小学校 施設水廻工事 | 友井1丁目2-37 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 115 | 芝ヶ丘 | 〃 | 石切中学校 プール建設 | 中石切町 4丁目10-3 | 〃 | 〃 | G L-31cmで古墳時代中期～後 期の包含層、遺構検出 |
| 116 | 岩瀬山 | 太田建設㈱ | 木造2階建住宅 | 六万寺町 1丁目888 | 〃 | 〃 | G L-25cmで中世の包含層検出 |
| 117 | 西堀 | 大日保溫工業㈱ | 監査署アスマ ルト工事 | 西堀字園町 2丁目7-3 | 立合い調査 | 〃 | 〃 |
| 118 | 友井東 | 西原正人 | 鉄筋3階建倉庫 | 金物町8-7 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 119 | 浄土寺谷 古墳群 | 岩井孝雄 | 木造2階建住宅 | 六万寺町 1丁目319-2 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 120 | 芝ヶ丘 | 川端徹治 | 鉄骨造 2階建住宅 | 中石切町4丁目 2-176-1 | 発掘調査 | 〃 | G L-55cmで古墳時代後期包含層 検出 |
| 121 | 鬼怒川 | 大阪府被服用地 協同組合 | S R C 造7階建 事務所・倉庫 | 西石切町7丁目 196-9 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 122 | 水走 | 加藤藤雄 | 鉄骨造 1階建工場 | 水走405号一帯(4 街区10番地-1番) | 立合い調査 | 〃 | 〃 |
| 123 | 〃 | 加藤眞子 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 124 | 鬼怒川 | 丸高衣料㈱ | R C 造4階建 倉庫 | 西石切町 7丁目192-11 | 発掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 125 | 水走 | 大東寅男 | 開発工事 (共用住宅6階) | 北石切町1-1-1 北石切町1-1-2 北石切町1-1-3 北石切町1-1-4 | 試掘調査 | 〃 | 〃 |
| 126 | 芦原寺 | 炎猪ホーム | 木造1階RC造 3階建住宅 | 善根寺町1丁目 608-610-2 | 発掘調査 | 〃 | 〃 |
| 127 | 水走 | 東平ビル㈱ | 建築工事 | 水走-1 298-1 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 128 | 芝坊山山 | 中井工務店㈱ | 分譲住宅建替 | 東石切町6丁目 1709-1の一部 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 129 | 岩田 | 東大阪市水道 企画管理課 | 上水道工事 | 岩田町6丁目 622 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 130 | 岩田 | 岩田一郎 | 2階建住宅(鉄筋大 型スキンパネル壁) | 岩田町6丁目 684-1 | 立合い調査 | 〃 | 〃 |
| 131 | (遺跡外) | 石原淳菜 | 建築工事 | 長坂町75-1~4 | 試掘調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 132 | 芝ヶ丘 | 小北和志 | 木造2階建住宅 | 北石切町1860-30 | 立合い調査 | 〃 | 〃 |
| 133 | 若江 | 市長北川謙次 | 堺東市立堺江小学 校舎・プール設置工事 | 若江町2-9-54 | 発掘調査 | 〃 | G L-66cmで中世の包含層遺構 検出 |
| 134 | 北鳥池 | 関西電力㈱ | 地中電線桿設置 | 新泡島町 1丁目~2丁目 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 135 | 猪崎 | 大阪情報通 信機器 | 土木建築工事 | 御前町 2丁目671-6 | 試掘調査 | 〃 | 〃 |

| No | 調査名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-----|------------|---------------|-----------------|-----------------------------------|-------|-----|--------------------------|
| 136 | 意岐部 | 大阪情報通信機器株 | 鉄骨造4階建事務所ビル | 御影東2丁目671-5 | 発掘調査 | 市教委 | 遺構・遺物検出せず |
| 137 | 客坊山 古墳群 | 日昭興業株 | 土木建築工事(分譲住宅) | 客坊町1065 | * | * | G.L.-20cmで縄文時代の包含層、遺構を検出 |
| 138 | (遺跡外) | タフヤ株 | 建築工事(3階建事務所ビル) | 御影718-3 | 試掘調査 | * | |
| 139 | 芝ヶ丘 | 中澤 勝 | 木造3階建住宅(-一部RC) | 北石切町1940-3 | 立合い調査 | * | |
| 140 | 鬼塚 | 浅田 てるる | 木造平屋建住宅 | 新町369-6 | * | * | sondageの深さには遺構・遺物なし |
| 141 | (遺跡外) | 南野 実治 | 建築工事 | 今井63-64-1 | 試掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 142 | 稻葉 順 | 株 | 木造2階建住宅 | 吉田春日町153-9 | 立合い調査 | * | |
| 143 | 水走 | 課サンルート興産 | 不動産の販賣 | 川中271-1,272-1,272-4,1270-1 | 試掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 144 | 若宮 古墳群 | 井之上 七治 | 新築工事 | 東山町77-5 | 立合い調査 | * | G.L.-70cmで中世包含層検出 |
| 145 | * | 石川 敏和 | * | * | * | * | * |
| 146 | * | 社会福祉法人 玄清会 | 2階建(B1)RC保育園 | 蒙山町1155-1158 | 発掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 147 | 水走 | 宮前 美信 | 鉄骨造2階建倉庫 | 中野町3-4,252-7,252-10(地番区3,10,11番地) | 立合い調査 | * | |
| 148 | 和泉 | 成和 跡 | 鉄骨造3階建倉庫、事務所 | 小石切町5丁目2441-4 | 発掘調査 | * | sondageの深さには遺構・遺物なし |
| 149 | 出雲井 古墳群 | 今村 達郎 | 鉄骨2階建住宅 | 五条町53 | * | * | 本報告に収載 |
| 150 | 花草山 古墳群 | 株 双葉住宅 | 1階鉄骨2・3木造平屋付住宅 | 上西条町1202-37 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 151 | * | * | * | * | * | * | * |
| 152 | (遺跡外) | 喜多 康夫 | 建築工事 (立体駐車場) | 若江本町1丁目450-1 | 試掘調査 | * | * |
| 153 | 佐堂 | 村松 満大 | S造3階建住宅 | 金岡町3丁目12-2 | 立合い調査 | * | |
| 154 | 玉串 | 宇野 考士 | 木造2階建住宅 | 玉串元町2丁目48-9 | * | * | sondageの深さには遺構・遺物なし |
| 155 | 鬼塚 | 中西 由尚 | 建築工事 | 立花町69-3 157-4 | 発掘調査 | * | G.L.-35cmで中世包含層検出 |
| 156 | 神並 | 上野 三男 | * | 蒙山町1116-2 | 試掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 157 | 水走 | 鰐野 賢一郎 | 鉄骨造5階建共同住宅 | 川中254-1 | 発掘調査 | * | * |
| 158 | 若江 | 高橋 幸寿 | 木造2階建住宅 | 若江本町4丁目52-4 | 立合い調査 | * | sondageの深さには遺構・遺物なし |
| 159 | 鬼塚 | 北口 晴康 | * | 新町371-21 | * | * | * |
| 160 | 西ノ辻 | 揖津毛糸工 業 | 鉄骨造2階建工場・倉庫建築 | 弥生町1415-1 1422 | 発掘調査 | * | * |
| 161 | 鬼塚 | 中川 正男 | S造2階建 事務所住宅 | 若路町95-4 96-2 | * | * | G.L.-71cmで古墳時代包含層検出 |
| 162 | 稻葉 | 松本 博 | 鉄骨造平屋 建物付住宅 | 桂葉2丁目23-6 | * | * | |

| No | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-----|-------|---------------|--------------------|-------------------------------|-------|-----|---------------------------|
| 163 | 水走 | 辰巳豊 | 鉄骨造 3階建住宅 | 吉田町50-6 | 立合調査 | 市教委 | 削削の深さには遺構・遺物なし |
| 164 | 風生堂 | 穂和建設㈱ | 鉄骨造3階建 共同住宅 | 若江西新町2-11 -1,7-8,7-9 | * | * | * |
| 165 | 若江 | 馬済正勝 | 1階建2戸用 木造單層住宅 | 若江南 2丁目60-9 | 発掘調査 | * | * |
| 166 | (道路外) | 飯井克典 | 築見可2階建 共同住宅(戸室) | 山手町2126-8 2126-9 | 試掘調査 | * | 遺構遺物検出せず |
| 167 | 植附 | 加藤隆司 | 木造2階建店舗 | 西石切町 1丁目8-1 | 慎重に実施 | - | - |
| 168 | 馬場川 | 貴島聰 | 木造2階建住宅 | 横小路町 3丁目453-2 | 発掘調査 | 市教委 | G L-130cmで弥生時代後期の包含層検出 |
| 169 | 樋手 | 大阪府八尾土木事務所 | 歩道設置工事 | 南西新町748-1 (樋手小堀手中) | * | * | G L-123cmで古墳時代の包含層検出 |
| 170 | 芝ヶ丘 | 池本吉男 | 木造2階建住宅 | 下平町2丁目 1425-14,1425-15 | 立合調査 | * | - |
| 171 | 北鳥池 | 山中仙太郎 | L.S.G造2階建 共同住宅 | 東公園89-1 | * | * | 削削の深さには遺構・遺物なし |
| 172 | 神代古墳群 | 諫田知彦 | 木造2階建住宅 | 上石切町 1-1224-3 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 173 | (道路外) | 辻中静子 | 建築工事(5戸 建共住宅) | 中石切町1丁目 449-1,449-4 | 試掘調査 | * | G L-20cmで中世の包含層検出 |
| 174 | 長花 | 田中千代造 | 土地売買 | 横小路町661 | * | * | G L-47cmで古墳時代の包含層検出 |
| 175 | 神代 | 森川茂 | 鉄骨S造 7階建住宅 | 東石切町1丁目 835-1 | 発掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 176 | * | 松山住宅営業㈱ | 鉄骨造 3階建住宅 | 東石切町1丁目 800-4,809-5 | * | * | G L-30cmで奈良~平安時代の包含層・遺構検出 |
| 177 | * | 松山昌二 | * | 東石切町 1丁目809-3 | * | * | * |
| 178 | (道路外) | 西岡作兵衛 | 共同住宅 建築工事 | 玉串町2丁目 1401-1-1 | 試掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 179 | 五合田 | 宮本孝男 | 木造2階建住宅 | 末広町820-2 | 発掘調査 | * | G L-5cmで古墳時代の包含層検出 |
| 180 | 久宝寺 | 田中由喜子 | 鉄骨造3階建 共同住宅 | 大通南1丁目 357-34,35 | 立合調査 | * | - |
| 181 | 岩瀬山 | 大東忠治 | 鉄骨造 2階建住宅 | 上六万寺 1530-1の一部 | 発掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 182 | 植附 | 谷口政明 | S造2階建 酒問屋町所 | 西石切町 3丁目257 | 立合調査 | * | G L-30cmで古墳時代の包含層検出 |
| 183 | 客坊山 | 城井産業㈱ | 土木・建築工事 | 若柳町105,106,107 108,109-1-2 | 発掘調査 | * | 調査実施中 |
| 184 | (道路外) | 村田秀太郎 | 建築工事 共同住宅 | 新喜多228-1 | 試掘調査 | * | - |
| 185 | 弥刀 | 西田榮子 | 鉄骨造4階建 共同住宅 | 源氏ヶ丘53 | 発掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 186 | 芝坊主山 | 中井工作店㈱ | 鉄骨造3階建 車庫付分譲住宅 | 東石切町6丁目 1709-1の一部 | 立合調査 | * | * |
| 187 | 鬼虎川 | 川本松太郎 | 鉄骨3階建 店舗付事務所 | 宝町1891-22 | * | * | 削削の深さには遺構・遺物なし |
| 188 | 池島 | ツジショウ㈱ | S造2階建倉庫 | 玉串町東2丁目 32-4,32-5 | 発掘調査 | * | * |
| 189 | 上小阪 | 和田久司 | 鉄骨造 3階建住宅 | 東上小阪620-5 | * | * | * |

| No | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-----|-------------|-------------------|--------------------------|--|-------|-----|-----------------------------|
| 190 | 鶴田寺 | 市長 北川 康次 | S62年度公下字若松 3丁目造りき重建工事 | 東山町～立花町 | 発掘調査 | 市教委 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 191 | 芝坊主山 | 松岡 勝 | S造2階建住宅 | 東石切町6丁目 1711-13 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 192 | 山畑 | 西尾 俊行 | 鉄骨造3階建 共同住宅 | 上四条町1628-1 | * | * | |
| 193 | 鳥場川 | 松田 忠義 | 木造2階建住宅 | 横小路町4丁目 1144-2 | 立合い調査 | * | |
| 194 | 岩田 | 平井 晃明 | S造2階建住宅 | 岩出町4丁目 529-14, -15 | 発掘調査 | * | |
| 195 | 芝ヶ丘 | 佛見 孝雄 | 鉄骨造 個人住宅 | 北石切町1859-8 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 196 | 小若江 | 阪神興産㈱ | ガレージ付木造2階 建連接住宅(5戸分) | 小若江3丁目 161-6, -7, -8 | * | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 197 | 水走 | ベニス産業㈱ | 鉄骨造2階建店舗 (ハンコ店) | 中野町205-3, 202-3, 213, 214-216番地(3号分) | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 198 | 正法寺山 | 三宅 勝 | S造2階建住宅 | 日下町109 -7, -11, -12 | * | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 199 | 花草山 古墳群 | 西尾工務店 | 木造一部RC造 2階建住宅 | 上四条町123-3 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 200 | 芝ヶ丘 | 堀越 宏明 | 木造2階建住宅 | 北石切町 1790-49 | * | * | G.L.-34cmで鎌倉時代の包含層。 遺構検出 |
| 201 | 瓜生堂 | 川中 審二 | 鉄骨造3階建 店舗付共同住宅 | 下小糸5丁目 78-3, 78-4 | 立合い調査 | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 202 | 芝ヶ丘 | 坂城戸産業 | 木造2階建住宅 | 北石切町 2198-31 | * | * | |
| 203 | * | 笠尾高盛 | 木造+RC造(地 下1)3階建住宅 | 北石切町 2198-49 | 発掘調査 | * | G.L.-130cmで古墳時代包含層検出 |
| 204 | 若江 | 東大阪市 下水道管理者 | 公共下水道工事 | 若江本町 4丁目地内 | * | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 205 | 千手寺山 | 見渡博 | R.C造3階建 共同住宅 | 東石切町 3丁目2-30 | * | * | 調査実施中 |
| 206 | 如意納 | 西岡 志義 | S造2階建工場 | 2004年1月7日付 276号書面内-1回目 直(6月22日)ハ-5 | * | * | |
| 207 | 正興寺山 | 池戸 達作 (一器RC)住宅 | 木造3階建 (一器RC)住宅 | 東石切町 3丁目1069-15 | 立合い調査 | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 208 | 山畑 古墳群 | 櫻井敬太郎 | 鉄骨造2階建 共同住宅 | 瓢箪山町1-1 | * | * | |
| 209 | みかん山 古墳群 | 向山 真治 | 軽量鉄骨走 2階建住宅 | 東畠通町108-4 | * | * | |
| 210 | 西堤 | 川浦 雅 | 木造2階建住宅 | 御前西ノ町35 | 慎重に実施 | - | - |
| 211 | 久宝寺 | 森岡 登喜男 | * | 大通南2丁目 352-16, 352-58 | 立合い調査 | 市教委 | |
| 212 | 衣摺 | 平田 品吾 | 住宅建築工事 | 衣摺3丁目 108-2, 108-12 | * | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 213 | コモ田 | 岡本 浩 | 木造2階建住宅 | 下六万寺町 1丁目429-1 | * | * | G.L.-37cmで古墳時代の包含層検出 |
| 214 | 菱江寺 | 松浦圭志 野村直子 | * | 菱江町04-1 | * | * | |
| 215 | 鬼塚 | 黒川吉庸 | * | 豊瀬町642-2, 5 | * | * | |
| 216 | (遠路外) | 福本 条謹 | 建築工事 (4階建共同住宅) | 新瀬島町 3丁目1509-6 | 試掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |

| No | 遺跡名 | 届出者 名(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-----|-----------|---------------|-------------------------|----------------------------|-------|-----|------------------------------|
| 217 | 芝坊上山 | 株中井工務店 | 3階建分譲住宅 (ガレージ付) | 東石切町6丁目 1-711-16 | 発掘調査 | 市教委 | 遺構・遺物検出せず |
| 218 | 鬼虎川 | 原田 浩夫 | 2階建 工場付住宅 | 宝町189-23 | 立合い調査 | * | |
| 219 | 水走 | 秋田工務店 | 土地売買 | 水走316-5 | 試掘調査 | * | GL-2.3mまで遺構・遺物検出せず |
| 220 | 段土 | 藤原 利做 | 木造2階建住宅 | 下六方寺町1131-2,1132-16 | 立合い調査 | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 221 | 西ノ辻 | 竹中 桂和 | 鉄骨造3階建 共同住宅 | 西石切町 3丁目170-1 | 試掘調査 | * | 縄文時代包含層、遺構・古墳時代 弥生時代の河川検出 |
| 222 | 佐草 | 林 宣秀 | 鉄骨造3階建 共同住宅 | 金岡4丁目 192-28 | 発掘調査 | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 223 | 山畑 古墳群 | 寺崎 義彦 | 木造2階建住宅 | 客町1145-1 | 立合い調査 | * | GL-30cmで中世の包含層を検出 |
| 224 | 高井田 | 森紙 聰政 | 鉄骨造2階建 事務所 | 高井田本町 6-79-1,2 | 発掘調査 | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 225 | 瓜生堂 | 栗山 忠信 | 鉄骨造2階建 共同住宅 | 中少坂5丁目 25-7 | * | * | * |
| 226 | 足立氏 船跨 | 発光土地建物㈱ | 3階建住宅(1階 RC造2階RC造) | 井手寺町 6丁目58-14 | 慎重に実施 | - | - |
| 227 | 植葉 | 市長 北川 謙次 | 公共下水道工事 | 植葉2丁目地内 | 発掘調査 | 市教委 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 228 | 持刀 | 木田 次郎 | 木造2階建住宅 | 近江堂 2丁目529-2 | 立合い調査 | * | * |
| 229 | 山畑 古墳群 | 城戸 清葉 聰 | 木造2階建 分譲住宅 | 蟹山町50-8 | 発掘調査 | * | |
| 230 | 小若江 | 森 達 設 舜 | 鉄骨造3階建 共同住宅(単身) | 小牧江 3丁目312-5 | * | * | GL-66cmで室町時代の包含層 を検出 |
| 231 | 岩瀬山 | 衣和興産㈱ | 木造2階建住宅 (分譲住宅) | 六万寺町1丁目 301-4,-1 | - | * | 遺構・遺物検出せず |
| 232 | 西ノ辻 | 木ノ木 晃 | 木造1階建門面 及びガレージ | 東石切町2-311 1581-1,1582-2 | 立合い調査 | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 233 | 若江 | 石田 稔 | 鉄骨七層建コア リートRC造3階建 | 石坂2丁目4-1,24 -45 低2-30-5 | 発掘調査 | * | 若江域の深層検出 |
| 234 | 正舞寺山 | 松本 登行 | 木造3階建(1 部RC造)住宅 | 東石切町3丁目 1059-18 | 立合い調査 | * | |
| 235 | 鬼塚 | 坂本 広幸 | 1階RC2,3階 木造車庫付住宅 | 豊浦町634-1 | * | * | |
| 236 | * | 河村 典二 | * | * | * | * | |
| 237 | 神華 | 市長 北川 謙次 | 公共下水道工事 | 西石切町 1丁目18-45 | 発掘調査 | * | 調査実施中 |
| 238 | 市尻 | 藤本 フジエ | RC造7階建 共同住宅 | 蟹山町279 280-1,280-2 | * | * | 古墳時代中期後半から後期の包含 層・遺構検出 |
| 239 | 岩瀬山 | 三友 ハウジング㈱ | 木造一部RC造地下 1階、地上2階建住宅 | 六万寺町1丁目 806-31 | * | * | |
| 240 | * | * | * | 六万寺町1丁目 806-32 | * | * | |
| 241 | * | 山本 幸夫 | * | 六万寺町1丁目 806-33 | * | * | |
| 242 | * | * | * | 六万寺町1丁目 806-34 | * | * | |
| 243 | 五合田 | 大伴地所㈱ | 鉄骨造3階建 共同住宅 | 米山町831-2 | * | * | GL-80cmで弥生時代中期の包含 層・遺構を検出 |

| No | 連跡名 | 届出者 名(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-----|-------------|------------------|-------------------|--|-------|-----|--------------------------|
| 244 | 上小阪 | 野口淳一 | 鉄骨造 3階建住宅 | 東上小坂620-5 | 発掘調査 | 市教委 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 245 | 五合田 | 田中淳一郎 | 鉄骨造 2階建住宅 | 末広町931-3 | * | * | G.L.-90cmで弥生時代中期の包含層検出 |
| 246 | 北島池 | 市長 北川謙次 | 長門川改修工事 | 下六万町 4丁目123 | * | * | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 247 | 衣根 | 高山周二郎 | 鉄骨造2階建 工場・住宅 | 衣根5丁目88-4 | * | * | * |
| 248 | 瓜生堂 | 栗山忠信 | S造3階建住宅 | 下小坂 4丁目308-1 | * | * | G.L.-118cmで奈良～平安時代の包含層検出 |
| 249 | 鬼塚 | 東大阪市水道企 業管 理者 | 公共水道工事 | 箱崎町458番地 ～508番地 | * | * | G.L.-58cmで弥生時代の包含層を検出 |
| 250 | 中垣内 | 高岡清吉 | 鉄骨造 2階建住宅 | 箕面市中垣内284-1, 283-3,286-1の一部, 297-4,101-1～5 | * | * | G.L.-288cmで古墳時代中期の包含層検出 |
| 251 | 芝坊主山 | 中井工務店株 | 木造2階建 事務所付住宅 | 東石切町6丁目 1711-16 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 252 | 鬼塚 | 中西由尚 | 木造2階建住宅 | 立花町157-4, 69-301一部 | 立合い調査 | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 253 | 西堤 | 西村計二 | 鉄骨造2階建 事務所付作業場 | 西淀本通東 3-22-1,3-21-1 | 発掘調査 | * | * |
| 254 | 植附 | 西川隆夫 | 鉄骨造3階建 共同住宅 | 西石切町 3丁目99 | 立合い調査 | * | G.L.-66cmで縄文時代の包含層を検出 |
| 255 | 弥刀 | 東大阪市水道企 業管 理者 | 公共下水道工事 | 友井1丁目 49-49 | 発掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 256 | * | * | * | 友井1丁目49- 近江町1丁目267 | * | * | * |
| 257 | 芝坊主山 | 中井工務店株 | 木造(地下B1) 2階建住宅 | 東石切町6丁目 1711-11,-15 | * | * | * |
| 258 | 神立 古墳群 | 河内谷久吉 | S造2階建住宅 | 上石切町1丁目 1186-3 | * | * | |
| 259 | 衣根 | 高根道信 | 建築工事 | 衣根3丁目 104-5 | 試掘調査 | * | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 260 | みかん山 古墳群 | 平田高正 | 建築工事 (住宅新築) | 豊浦町1142-10 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 261 | 皿池 | 松本正道 | 木造2階建住宅 | 喜里川町324-24 | 発掘調査 | * | G.L.-75cmで古墳時代の包含層検出 |
| 262 | 若江 | 小山作二 | 鉄骨造 3階建住宅 | 若江町 2丁目73-3 | * | * | |
| 263 | 花草山 古墳群 | 西尾邦勝 | 木造2階建住宅 | 上円町1218 | * | * | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 264 | 若江 | 春木悟 | 鉄骨造 3階建住宅 | 若江町 4丁目540-18 | * | * | G.L.-40cmで室町時代の包含層検出 |
| 265 | 芝坊主山 | 中井工務店株 | 木造2階建 事務所付住宅 | 東石切町6丁目 1709の一部 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 266 | 神立 古墳群 | 白岩賢治 | 木造2階建住宅 | 上石切町1丁目 1209-13,1209-90 | * | * | |
| 267 | 西岩出 | 関西電力社 | 地中電線 路基埋設 | 西宮町3丁目-新田 大字中野(新田8番5) | * | * | 調査実施中 |
| 268 | 菱江寺 | 野村利彦 | 木造2階建住宅 | 菱江104 | * | * | 掘削の深さに遺構・遺物なし |
| 269 | 水走 | 伊田義則 | 鉄骨造2階建 事務所 | #北25-2号地の一部 (0800)0801-1 | 立合い調査 | * | |
| 270 | 小若江 | 山本慎一 | 鉄骨造 3階建住宅 | 小若江 3丁目117-27 | 発掘調査 | * | |

| No | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-----|-------------|-----------------|----------------------|------------------------|-------|-----|-----------------------------|
| 271 | 出雲井 古墳群 | ダイニチ興産社 | I階RC2.3層 木造軒付住宅 | 喜里I町33-3 | 立合調査 | 市教委 | 遺構・遺物検出せず |
| 272 | * | * | * | * | * | * | * |
| 273 | * | 山本 淳子 | 木造2階建住宅 | 出雲井本町95-4 | * | * | * |
| 274 | 瓜生堂 | 家森 康之 | S造1階建店舗 | 瓜生堂 1丁目902-5 | 発掘調査 | * | |
| 275 | 上小阪 若江北 | 東大阪市水道 企業管理課 | 公共上水道 配水管工事 | 若江新町4丁目 4, 4丁目21 | * | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 276 | 若江 | 岡本 幸雄 | 鉄骨造 2階建住宅 | 若江町 3丁目886-2 | * | * | G.L.-25cmで中世の包含層検出 |
| 277 | 岩瀬山 | 毎日興業設 | 木造2階建住宅 (一部RC造) | 六方寺町1丁目 797-3 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 278 | 衣根 | 高根道信 | S造3階建住宅 (1階ガレージ) | 衣根 3丁目104-5 | * | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 279 | 西岩田 | 日新町 そーしー 建設 | S造2階建店舗 | 西岩田4丁目 151-4 | 慎重に実施 | - | - |
| 280 | 瓜生堂 | 中島正和 | 木造2階建住宅 | 若江新町 3丁目3-24 | 立合調査 | 市教委 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 281 | 久宝寺 | 立陶院葉株 | I階鉄骨2.3 層木造住宅 | 大通5丁目 230-6 | 発掘調査 | * | * |
| 282 | (道路外) | 西園好子 | 4階建店舗付 2階建住宅 | 昭和町1-3 | 試掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 283 | 細川寺跡 | 東大阪市水道 企業管理課 | 配水管 貯留池工事 | 鶴山町709-702 | 発掘調査 | * | * |
| 284 | 弥刀 | 辻本文雄 | 木造2階建住宅 | 安井1丁目72-6 | * | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 285 | 水走 | 巽日古 | 木造2階建住宅 | 水走1143-1 | 立合調査 | * | |
| 286 | みかん山 古墳群 | 福崎正旗 | モビ造工事(鉄 筋コンクリート造) | 山手町604 | 試掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 287 | 鬼塚 | 日昭興業㈱ | S造4階建 鉄骨造 | 福崎町269-5 | 発掘調査 | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 288 | 西堤 | 高橋達基株 | 鉄骨造2階建 事務所・住居 | 長田 1308-10番地 | * | * | * |
| 289 | 水走 | 吉村寿一 | RC造2階建 マンション | 吉田鶴町63-1-3 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 290 | 丘谷田 | 株林工務店 | 木造2階建住宅 | 米原町926 | * | * | |
| 291 | (道路外) | 定井勇代子 | 3階建 マンション | 池之端 270 271 | 試掘調査 | * | G.L.-160cmまでには遺構・遺物 検出せず |
| 292 | 蓮山古墳 | 宇佐美博 | 木造2階建住宅 | 東石川町 5丁目197 | 発掘調査 | * | |
| 293 | 佐堂 | 山口日出男 | 木造2階建住宅 | 金剛3丁目 236-3-4 | 立合調査 | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 294 | 若江 | 湯浅衛 | 鉄骨造 3階建住宅 | 若江南 2丁目6-10 | 発掘調査 | * | G.L.-117cmで中世包含層検出 |
| 295 | (道路外) | 北田安太郎 | 2階建貯水場 貯水池 | 水走561(復興地 118街区2号分) | 試掘調査 | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 296 | 鶴筑山 古墳 | 安多健一 | 鉄骨造3階建 店舗付共同住宅 | 鶴筑山町 91-16 91-9 | 発掘調査 | * | G.L.-85cmで円筒埴輪を含む包含 層検出 |
| 297 | 佐堂 | 近藤互男 | 鉄骨造 3階建住宅 | 金剛3丁目 192-25 | 立合調査 | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |

| No | 通跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-----|------------|----------------|--------------------|------------------------|-------|-----|---------------------------|
| 298 | 花草山 古墳群 | 西尾邦勝 | 木造2階建 1部RC造住宅 | 上四条町1213-1 | 発掘調査 | 市教委 | 埋削の深さには遺構・遺物なし |
| 299 | * | * | * | * | * | * | * |
| 300 | 出雲井 古墳群 | 日暮鶴 | 鉄骨2階建住宅 | 此宮町73-1 | * | * | * |
| 301 | 久宝寺 | 蝶司ハウス | 1階鉄骨2、3 層木造住宅 | 大蓮東5丁目 230-1 | * | * | * |
| 302 | * | * | * | * | * | * | * |
| 303 | 瓜生堂 | 東大阪市 下水道管理者 | 公共下水道管 3ヶ所新設工事 | 若江西新町 1丁目 | * | * | * |
| 304 | 芝ヶ丘 | ㈱サンライズ ホームズ | 木造2階建住宅 | 北石切町 1912の一部 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 305 | 久宝寺 | 片倉一男 | 鉄骨造 3階建住宅 | 大蓮南1丁目 376-10 | * | * | 埋削の深さには遺構・遺物なし |
| 306 | 瓜生堂 | 筒井正曉 | 鉄骨造6階建 共同住宅 | 下小阪4丁目 298-4 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 307 | 西ノ辻 | 櫻井義男 | 土地売買 | 秀生町1289-2 | 試掘調査 | * | G L-158cmで古墳時代の包含層を 検出 |
| 308 | 久宝寺 | 石井征二郎 | 鉄骨造 3階建住宅 | 大蓮東4丁目 178-15,-25 | 立合い調査 | * | |
| 309 | 相葉 | 南野寛 | 木造平屋食舎 | 吉HIZ丁目137-3 | 傾倒に実施 | - | - |
| 310 | 山畠 古墳群 | 宝田久太郎 | R C造2階建 共同住宅 | 上四条町377 376-4 | 発掘調査 | 市教委 | G L-35cmで古墳時代後期の包含 層検出 |
| 311 | 神並 | 清水義夫 | 木造2階建住宅 | 東石切町2丁目 921-2 | 立合い調査 | * | 埋削の深さには遺構・遺物なし |
| 312 | 瓜生堂 | 中谷秀夫 | 木造2階建 共同住宅 | 若江西新町 2丁目16-7 | * | * | |
| 313 | (遺跡外) | 中野亮太郎 | 建築工事 | 花園本町 1丁目1084-2 | 試掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 314 | 花草山 古墳群 | 小野利忠 | 鉄骨造2階建 共同住宅 | 上西条町283,126, 125の一部 | 発掘調査 | * | 調査について協議中 |
| 315 | (遺跡外) | 横水ハウス就 | 建築工事 (共同住宅14棟) | 下小阪1丁目 539-1 | 試掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 316 | 水走 | 西堀延寿 | R C造5階建 共同住宅 | 水走278-1地 | 発掘調査 | * | * |
| 317 | 豪徳寺跡 | 吉田征成 | S造3階建 住宅・工場 | 御前北ノ町61-1 61-3 | * | * | |
| 318 | 玉串 | 池田祐昭 | 木造(1部RC 造)3階建住宅 | 玉串3丁目 1137-3 | 立合い調査 | * | |
| 319 | 鬼虎川 | 太陽機械商事 | 建築工事 | 西石切町5丁目 187-3,4,5 | 発掘調査 | * | 埋削の深さには遺構・遺物なし |
| 320 | 鬼虎川 | 別所達美 設計事務所 | 鉄骨1階建 蔵庫 | 西石切町 7丁目199-1 | * | * | |
| 321 | 若江 | 市長北川謙次 | 公共下水道工事 | 若江北町 2丁目地内 | * | * | 埋削の深さには遺構・遺物なし |
| 322 | 相葉 | 酒井弘志 | S造3階建住宅 | 西田2丁目 137-20,-21 | * | * | * |
| 323 | 花草山 古墳群 | 野田廣 | 木造2階建住宅 | 上西条町1252, 1243の一部 | 立合い調査 | * | * |
| 324 | 神並 | 東大阪市水道 金業答規 | 公共下水道管 理工事 | 西石切町1丁目 18-45 | 発掘調査 | * | * |

| No | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-----|-------------|--------------------|----------------------|--------------------------------|------|-----|-------------------------|
| 325 | 山賀 | 小林政男 | S造2階建 住宅車庫付 | 若江西町5丁目 16-9,16-10 | 発掘調査 | 市教委 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 326 | 鬼塚 | (和)シオノ | S造3階建 共同住宅 | 新町250-4 | * | * | G.L.-100cmで古墳時代後期の包含層検出 |
| 327 | 豪江寺跡 | 福島翠基 | R.C.造4階建 事務所 | 豪江443-1 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 328 | 花草山 古墳群 | 双葉住宅(㈱) | 木造2階建住宅 | 上西条町202-37 | 立合調査 | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 329 | 鬼虎川 | 飼田博子 | 木造2階建住宅 | 宝町1702-9,1703 -4,1703-56番地 | * | * | * |
| 330 | 北鳥池 | 河角清 | 鉄骨造 3階建住宅 | 宋広町 910-16番地 | 発掘調査 | * | * |
| 331 | 植村 | 村尾石油販売所 | タンク埋設工事 | 西石切町 1丁目9-8 | * | * | G.L.-100cmで中世の遺構を検出 |
| 332 | 馬場川 | 北岸昭夫 | 鉄骨造2階建 倉庫付事務所 | 横小路町 4丁目207-5 | * | * | |
| 333 | 水走 | 高田スエノ | 鉄骨造2階建 共同住宅 | 水走1265-5-1 1278-1 | * | * | |
| 334 | (遺跡外) | 大阪府住宅供 給公社社 | 大阪都市計画事業 中古土地活用事業 | 淀江一吉田駅場 320-3番地 | 試掘調査 | * | S63.4.中旬試掘調査を実施予定 |
| 335 | 馬場 | タカドノ興業(㈱) | 木造2階建住宅 (地下ガレージ) | 日下町2丁目 1444-6 | 発掘調査 | * | |
| 336 | 花草山 古墳群 | 小野利忠 | 鉄骨造2階建 共同住宅 | 上西条町268 -1-2番地 | * | * | 調査について協議中 |
| 337 | * | * | * | 上西条町 1,267番地 | * | * | * |
| 338 | 水走 | 昭和織機(㈱) | R.C.造7階建 倉庫共同住宅 | 中新開 320-1番地 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 339 | 出雲井 古墳群 | ダイニチ興業(㈲) | R.C.木造 3階建住宅 | 喜里川町 33-3番地 | 立合調査 | * | * |
| 340 | みかん山 古墳群 | 北口一康 | 木造2階建住宅 | 東豊浦町 1142-4番地 | 発掘調査 | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 341 | 芝坊主山 | 中井工務店 | 工作物の搬送 | 東石切町6丁目 1709-7地 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 342 | 五合田 | 城戸産業(㈱) | 木造2階建住宅 | 街並町 727-51番地 | 立合調査 | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 343 | 神並 | 課リクリートコ スモス大阪支社 | 共同住宅 | 西石切町 1丁目395番地 | 試掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 344 | 西ノ辻 | 山田秀夫 | 木造2階建住宅 | 舟町177番地 | 立合調査 | * | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 345 | 神並 | 中川忠士 | S造2階建住宅 | 西石切町1丁目 758-12番地 | 発掘調査 | * | G.L.-80cmで奈良時代包含層検出 |
| 346 | 鬼塚 | 米倉健司 | R.C.造 2階建住宅 | 東莊町796-2, 485-2,464-6 | * | * | G.L.-25cmで古墳時代の包含層を検出 |
| 347 | (遺跡外) | 藤原秀正 | 土木建築工事 | 吉田島之内10-2 11-2,12-2 | 試掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 348 | * | 山村政次 | * | 塙町502-1,502- 2,503-1,503-10 | * | * | * |
| 349 | 北星敷 | 山本栄次 | 鉄筋コンクリート 造7階建共同住宅 | 横小路町 4丁目185 | 発掘調査 | * | |
| 350 | 鬼虎川 | ㈱サンライム ホームズ | R.C.造6階建 事務所店舗 | 西石切町 5丁目521-1 | * | * | 調査について協議中 |
| 351 | 衣摺 | 関西電力(㈱) 大阪南支社 | 電気工事 | 衣摺5丁目地先 | 立合調査 | * | |

| No | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-----|------------|---------------------|---------------------------|------------------------------|-------|-----|-----------------------------|
| 352 | 小若江 | (学)近畿大学 建設 | 後(文政8年) 鉄骨造2階建 共同住宅 | 小若江3丁目4-1 西石切町1丁目 ~78番 | 発掘調査 | 市教委 | G.L.-93cmで中世包含層、遺構を検出 |
| 353 | 神 並 | 大田 正 明 | 鉄骨造2階建 共同住宅 | 西石切町1丁目 ~78番 | * | * | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 354 | (遠跡外) | 月山 マス・ 月山 安 夫 | 土木建築工事 | 花園西町1丁目 312番1 | 試掘調査 | * | |
| 355 | 出雲井 古墳群 | 増田 正 次 | (車庫付)鉄骨 造3階建住宅 | 出雲井本町435 瓜生堂2丁目 地内 | 発掘調査 | * | |
| 356 | 若 江 | 市長 北川 謙次 | 公共下水道工事 | 瓜生堂2丁目 地内 | * | * | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 357 | * | * | * | 若江本町4丁目 | * | * | G.L.-30cmで中世包含層検出 |
| 358 | 岩 田 | * | * | 岩田町5丁目 6丁目地内 | * | * | |
| 359 | 若 江 | 前田 祥 子 | RC造3階建 住宅 | 若江北町3丁目 52-1,52-2 | * | * | |
| 360 | 岩 田 | 東大阪市水道 企 业 管 理 者 | 公共上水道工事 | 岩田町6丁目622 立合い調査 | * | | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 361 | 都田山 古墳群 | ニッサンハウス(苗) | 木造2階建住宅 | 山手町2141-1 | 発掘調査 | * | |
| 362 | 山 烟 古墳群 | 尾 西 幸 信 | | 上四条町2038 | 試掘調査 | * | G.L.-50cmで弥生時代中期包含層 を検出 |
| 363 | 水 走 | 橋 本 覚 | RC造3階建 共同住宅 | 吉田船町50-1 | 発掘調査 | * | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 364 | 出雲井 古墳群 | 浦 上 幸 夫 | 木造2階建住宅 | 東豊原町867-10, 12,13,15 | * | * | |
| 365 | コモ田 | 市長 北川 謙次 | 公共下水道工事 | 下六万寺町2丁 目地内 | * | * | G.L.-74cmで弥生土器 少量出土 |
| 366 | 鶴 立 | 元 田 洋 文 | RC木造3階建 住宅 | 鶴町80-35 | 慣習に実施 | — | — |
| 367 | 西 代 | 岡 村 錠 離 | 軽量鉄骨 2階建共同住宅 | 横小路町4丁目 763-1,764-1 | 発掘調査 | 市教委 | 掘削の深さには遺物・遺構なし |
| 368 | 水 走 | デンサン工業(株) | 倉庫建設 | 水走2000-2 | * | * | * |
| 369 | (遠跡外) | 東 繁 太 郎 | 駐車場整備工事 | 長田西4丁目 62-63 | 試掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 370 | 堀 塚 | 東 大阪 市 水道企業管理者 | 公共上水道工事 | 鳥居町374-358 | 立合い調査 | * | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 371 | 芝ヶ丘 | 旭 永 建設(㈱) | 木造2階建住宅 | 北石切町1978-1 | * | * | |
| 372 | 斧 刀 | 天 國 雅 | 木造2階建住宅 | 近江堂2丁目 180-6 | * | * | |
| 373 | 水 走 | 民 野 保 | 鉄骨造3階建 共同住宅 | 中筋町248-1 | 発掘調査 | * | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 374 | 鬼 墓 | 高 猛 晃 | 鉄骨3階建住宅 | 新町291-4 | * | * | G.L.-149cmで弥生時代中期包含層 を検出 |
| 375 | 上六万寺 | 近畿建設工業所 | 住宅整備工事 | 上六万寺町 1405-5 | * | * | |
| 376 | 上小坂 若江北 | 市長 北川 謙次 | 公共下水道工事 | 若江西新町4丁 目6-2,7-2 | * | * | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 377 | 上小坂 | 拓 商(㈱) | 鉄骨2階建 共同住宅 | 若江西新町4丁 目6-2,7-2 | 立合い調査 | * | |
| 378 | コモ田 | 東 大阪 市 水道企業管理者 | 公共上水道工事 | 六万寺町 2-62,-61 | * | * | |

| No | 調査名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-----|------------------|---------------|-----------------|-------------------------|-------|-----|----------------------------------|
| 379 | 若江 | 植田 修二 | 鉄骨3階建住宅 | 若江南1丁目572-4 | 発掘調査 | 市教委 | GL-35cmで中世の包含層検出 |
| 380 | 下六万寺 | 木村 勝治 | 塗装工事 | 下六万寺町3丁目1172-2 | * | * | GL-55cmで古墳時代後期の包含層検出 |
| 381 | 芝ヶ丘 | 旭水 塗装師 | 木造2階建住宅 | 北石切町187-1 | 立合い調査 | * | |
| 382 | 寄坊山 古墳群 | 日昭興産㈱ | 土木塗装工事 | 寄坊町1064-1071 | 発掘調査 | * | S.63.5中旬より調査予定 |
| 383 | 水走 | 鶴部 弘明 | 鉄骨造3階建住宅 | 吉田松原44-2 | 慎重に実施 | - | - |
| 384 | 水走 | 大西木 篤輔 | S造2階建住宅 | 水走316-5 | 立合い調査 | 市教委 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 385 | (遺跡外) | 長谷工都市開発 | 塗装工事 | 典河内東2丁目5-1,5-2 | 試掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 386 | 若江 | 東大阪市教育委員会 | 屋根遮熱塗改築工事 | 若江南2丁目9-54 | 発掘調査 | * | GL-80cmで鎌倉時代の包含層を検出 |
| 387 | 辻子谷 | 後藤 昭子 | R.C造3階建 共同住宅 | 中石切町2丁目251-1 | * | * | GL-110cmで古墳時代の包含層、弥生時代後期包含層遺構を検出 |
| 388 | 花草山 古墳群 | 兼久 恵 | 木造R.C造 2階建住宅 | 上四条町1213-7 | 慎重に実施 | - | - |
| 389 | 花草山 古墳群 | 岡崎 未穂 | 木造2階建住宅 | 上四条町1145番地 | 立合い調査 | 市教委 | 遺構・遺物検出せず |
| 390 | 若江 | 石山 康一 | 木造2階建住宅 | 若江北町3丁目892番地 | * | * | |
| 391 | 福葉 | 市長 北川謙次 | 公共排水管敷設 水路工事 | 豪河町37番地先他 | 発掘調査 | * | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 392 | 福葉 | 市長 北川謙次 | 公共道路整備 排水管敷設 | 吉田春日151-154番地先 | * | * | |
| 393 | 佐堂 | 中谷 典三郎 | 鉄骨平家貯蔵庫 5棟 | 大庭家4丁目41-1 | 立合い調査 | * | |
| 394 | 瓜生堂(若江 相川町西側) | 市長 北川謙次 | 公共下水道工事 | 若江北町2-3丁目 | 発掘調査 | * | |
| 395 | 浪島 | 駄場 元幸恵 | 鉄骨造2階建工場 | 玉の東3丁目157-7,160-2,160-3 | * | * | |
| 396 | 巨摩凝寺 | 高井 順 | 木造2階建住宅 | 若江北町3丁目769 | * | * | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 397 | 北鳥池 | 山田 工務店㈱ | 鉄骨造 7階建共同住宅 | 若草町1245-1 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 398 | 西ノ辻 | 中西 早三 美子 | 軽量 鉄骨造2階建住宅 | 北町1601-5,1602-8,1603-10 | 立合い調査 | * | |
| 399 | 大浦塚 古墳 | 富士住建㈱ | 塗装工事 | 東石切町1104 北5東 | 試掘調査 | * | 鎌倉時代の遺構検出 |
| 400 | 風池 | 前田 未来 | 木造2階建住宅 | 河内町674-3 | 発掘調査 | * | |
| 401 | 若宮 古墳群 | 中場 典子 | * | 東石切町2丁目1099-8 | 立合い調査 | * | |
| 402 | 千手寺山 | 吉村 逸雄 | * | 東石切町4丁目1638-27 | * | * | |
| 403 | (遺跡外) | 寺 西 孝 | 塗装工事 | 西石切町4丁目558-1 | 試掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 404 | 岩田 | 市長 北川謙次 | 火葬場増築 | 岩田町5丁目652 | 発掘調査 | * | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 405 | (遺跡外) | 倉橋 松治郎 | 塗装工事 | 東石切町5丁目312 | 試掘調査 | * | * |

| No | 調査名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-----|-------------|------------------|-----------------|---------------------------|-------|-----|-----------------------|
| 406 | 芝ヶ丘 | 池田栄 | 木造2階建住宅 | 北石切町1790-44 | 立合い調査 | 市教委 | |
| 407 | 若江 | 市長 北川謙次 | 屋内運動場建設 | 若江町2丁目9-54 | 試掘調査 | * | G.L.-70cmで中世包含層検出 |
| 408 | みかん山 古墳群 | 中川 桂 葵 | 建築工事 | 東垂通町1131-1 | * | * | 古墳時代後期の横穴式石室が点在するのを確認 |
| 409 | 日下 | 出口昭二 | 木造2階建 基礎整地 | 日下町6丁目766-1の1番 | 立合い調査 | * | |
| 410 | 水走 | ベル玩藝館 | 6階建事務所 基礎付倉庫 | 水走226-4 | 発掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 411 | 玉串 | 板倉 章 | 鉄骨2階建 共同住宅 | 玉串町西3丁目1137-7 | 立合い調査 | * | |
| 412 | 芝ヶ丘 | 旭永建設㈱ | 木造2F連住宅 | 北石切町1978-1 | 発掘調査 | * | |
| 413 | 桜葉 | 大阪府建築部 鶴橋室長 | 建設工事 | 相樂2丁目引番地 | 立合い調査 | * | 振削の深さには遺構・遺物なし |
| 414 | 鬼塚 | 寺脇工務店 | 建設工事 | 南莊町8-30番地 | 発掘調査 | * | * |
| 415 | 瓜生堂 | 太田工務店 | 鉄骨3階建車庫 付住宅 | 下小阪4丁目310-8番地 | * | * | |
| 416 | 久宝寺 | ㈱エムラホーム | 鉄骨3階建 長屋住宅 | 大蓮東5丁目230-23番地 | * | * | 振削の深さには遺跡・遺物なし |
| 417 | 山畑 古墳群 | 今井清 | 専居住宅の建設 | 上四条町2021-3番地 | * | * | |
| 418 | 客坊山 古墳群 | 鈴屋工務店㈱ | 木造2階建住宅 塗装 | 客坊町726-12-14番地 | * | * | |
| 419 | (遠跡外) | 柴田正旗 | 共同住宅 | 南上小阪541-1, 3,542-1,3番地 | 試掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 420 | 西堀 | 学校法人村上学園 | 建築工事 | 西堤字瀬町3-1番地 | * | * | |
| 421 | 西岩田 | 南野タマエ | 鉄骨1階倉庫 建設 | 西岩田4丁目76-77-1,77-2 | 発掘調査 | * | |
| 422 | 桜葉 | 金在渉 | 鉄骨3階建住宅 | 吉田町153-1番地 | * | * | 振削の深さには遺構・遺物なし |
| 423 | 上小坂 山質 | 近畿大学 | 下水道施設新築 及び埋設 | 若江西新町5丁目121-1 | * | * | 古墳時代前期の遺物包含層、遺構を検出 |
| 424 | 馬場川 | 渡辺貴夫夫 住宅 | 鉄骨2階建 | 様小坂町4丁目751-1 | * | * | |
| 425 | 鬼塚 | 曾根八郎 | 鉄骨3階建ビル | 萬願町493-1 | * | * | 振削の深さには遺構・遺物なし |
| 426 | 芝ヶ丘 | 旭永建設㈱ | 木造2階建住宅 | 北石切町1978-1 | 立合い調査 | * | |
| 427 | コモ田 | 大阪ガス㈱ 東部導管事業所 | ガス支管 仮設設工事 | 下六寺町2丁目2-37 | 慎重に実施 | - | - |
| 428 | 鬼塚 | 合同鉄鋼㈱ | 木造2階建住宅 | 南莊町134-1 | 発掘調査 | 市教委 | |
| 429 | 和泉 | 山本丸一 | 鉄骨2階建工場 | 牛石切町6丁目2924-1 | 立合い調査 | * | |
| 430 | (遠跡外) | 田中武 | 共同住宅 | 後藤3丁目5-1 | 試掘調査 | * | |
| 431 | 芝ヶ丘 | ㈱サンライズ ホーム | 分譲住宅 | 北石切町1912の一帯 | 発掘調査 | * | |
| 432 | * | ㈱秋田工務店 | 木造2階建住宅 | 北石切町2243 | * | * | |

| No | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-----|------------|-----------------|--------------------|-------------------------|-------|-----|----------------------------|
| 433 | 塔田 | 鶴ハウジング山口 | 鉄骨造3階建 住宅 | 若田町5丁目 605-33 | 発掘調査 | 市教委 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 434 | 岩瀬山 | 御日興建設 | 住宅地造成工事 | 上六万寺町1502 -3,4,13 | * | * | |
| 435 | 山 煙 古墳群 | 蒲城戸産業 | 木造2階建住宅 | 鶴見山町47-8, 47-2 | 立合い調査 | * | |
| 436 | 上小阪 | 豊島博美 | 建築工事 | 上小阪601-1-8 | 発掘調査 | * | |
| 437 | 尾崎部 | モービル石油㈱ | 鉄骨2階建ガソ リンスタンド | 舞留東2丁目 714-6 | * | * | GL-95cmで古墳時代前期の包含層検出 |
| 438 | 加 美 | 河村武治 | 鉄骨2階建住宅 | 大蓮南5丁目 808-30 | 立合い調査 | * | |
| 439 | 瓜生堂 | 山野常造 | * | 若江西新町1丁 目22-1 | 発掘調査 | * | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 440 | 若宮 古墳群 | 鶴川太一 | 店舗付住宅 | 東山町1119-2, 1118-2,13 | * | * | |
| 441 | 若 江 | 東大阪市水道 企画管理者 | 配水管布設工事 | 若江本町925~ 926 | 立合い調査 | * | |
| 442 | (遠跡外) | 田中健治 | 商店舗付駐車場 付共同住宅 | 稻田922-1 | 試掘調査 | * | 遺構・遺物検出せず |
| 443 | 千手寺山 | 小寺俊二 | RC造2階建 共同住宅販賣 | 東石切町4丁目 3-10 | 発掘調査 | * | |
| 444 | 水 走 | 川畑 駿 | 鉄骨2階建倉庫 | 吉田船場96-1 | * | * | |
| 445 | 植 附 | 出口精一 | 鉄骨コンクリー ト2階建住宅 | 西石切町3丁目 320 | 発掘調査 | * | GL-13cmで古墳時代中期包含層、 遺傳検出 |
| 446 | 小若江 | 広岡勝喜 | 鉄骨造3階建 住宅 | 小若江3丁目82 -15 | * | * | |
| 447 | 水 走 | 高林 魁太郎 忠雄 | 鉄骨コンクリート 造2階建住宅 | 中新第261,257 -4,259-1 | * | * | |
| 448 | (遠跡外) | 社会福祉法人 川福会 | 建築工事 | 出雲井手町336, 401-1他 | 試掘調査 | * | |
| 449 | 西ノ辻 | 西村政一 | * | 西石切町3丁目 155-1 | * | * | GL-126cmで弥生時代中期の包含層検出 |
| 450 | * | 出口ヤスエ | 鉄骨造3階建 共同住宅 | 秀生町1292-1 | 発掘調査 | * | |
| 451 | (遠跡外) | 木下一雄 | 共同住宅 | 稻葉236,239 | 試掘調査 | * | |
| 452 | * | 山本相次郎 | 建築工事 | 稻田837-1 | * | * | 遺構・遺物検出せず |
| 453 | 辻子谷 | 南川賢司 | 鉄骨造2階建 住宅 | 中石切町1丁目 5-17 | 立合い調査 | * | |
| 454 | 船 山 | 菅尾光博 | 鉄骨造2階建 工場 | 六万寺町2丁目 375-1,-3 | 発掘調査 | * | |
| 455 | 瓜生堂 | 安岡長吉 | 食庫建設 | 若江北町1丁目 45-1,22,-23 | 慎重に実施 | - | - |
| 456 | 水 走 | 大西木曾綱 | 鉄骨造 平家造建築 | 水走316-5の 一部 | 立合い調査 | 市教委 | |

図 版

図版1 花草山23号墳遺構



1. 試掘調査時の状況



2. 調査地全景(北より)

図版2 花草山23号墳遺構



1. 調査地全景(東より)



2. 石室全景(北西より)



1. 石室全景(入口側より)



2. 石室全景(奥壁側より)



1. 石室奧壁



2. 石室右側壁(部分)

図版5 花草山23号墳 遺構



1. 石室左側壁(部分)



2. 再利用時の閉塞石

圖版 6 花草山23號墳遺構



1. 床面遺物出土狀況



2. 床面遺物出土狀況(部分)



1. 棺台および遺物出土状況(第Ⅰ群)



2. 人骨検出状況(第Ⅰ群)



1. 遺物出土狀況(第Ⅱ群)



2. 遺物出土狀況(第Ⅳ群)



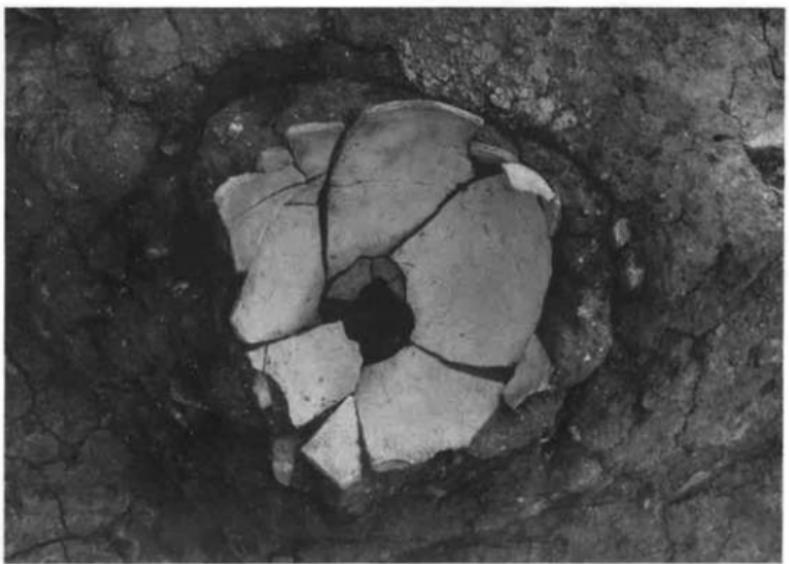
1. 再利用時の検出状況(1)



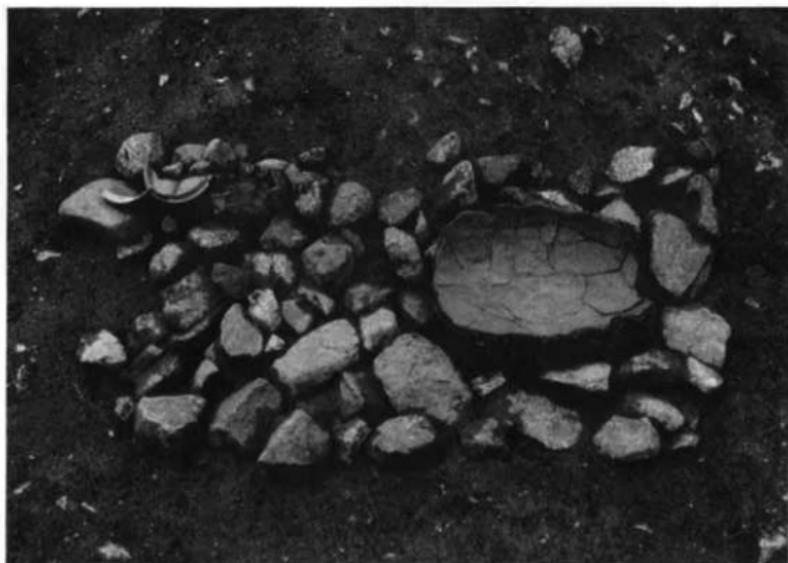
2. 再利用時の検出状況(2)



1. 壺出土状況(1)



2. 壺出土状況(2)



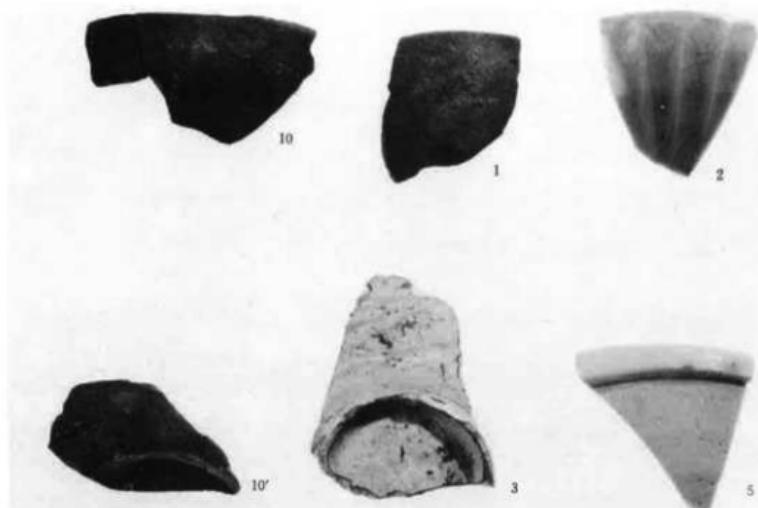
1. 遺物出土狀況



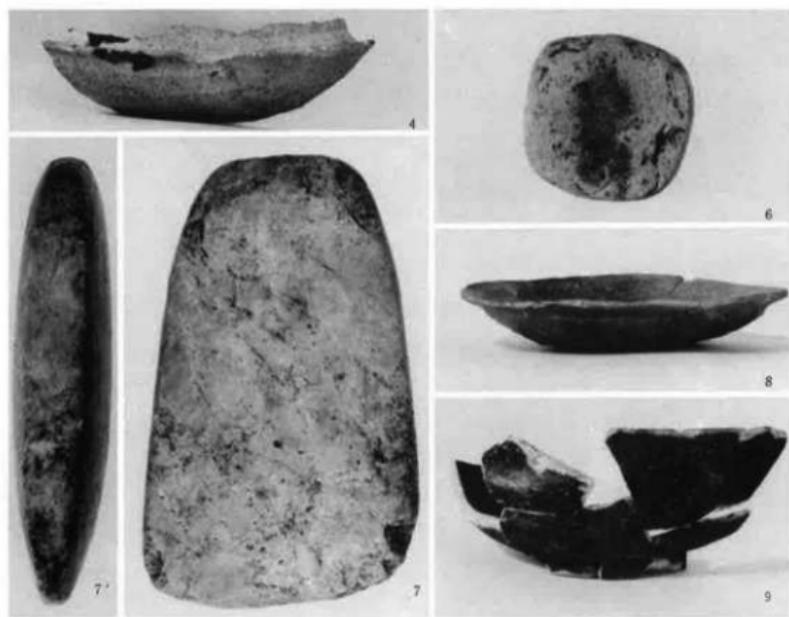
2. 敷石繪出狀況

圖版 12

花草山 23 號墳
遺物



上部遺物包含層・石室上層





11



12



13



15



14



16



17



18

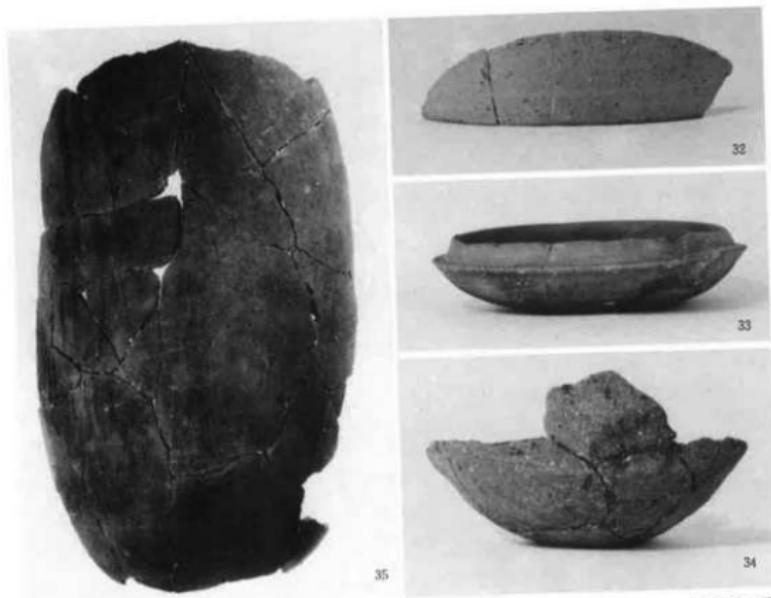


31

圖版 14 花草山 23・24 号墳 遺物



23号墳石室床面鉄製品



24号墳土器



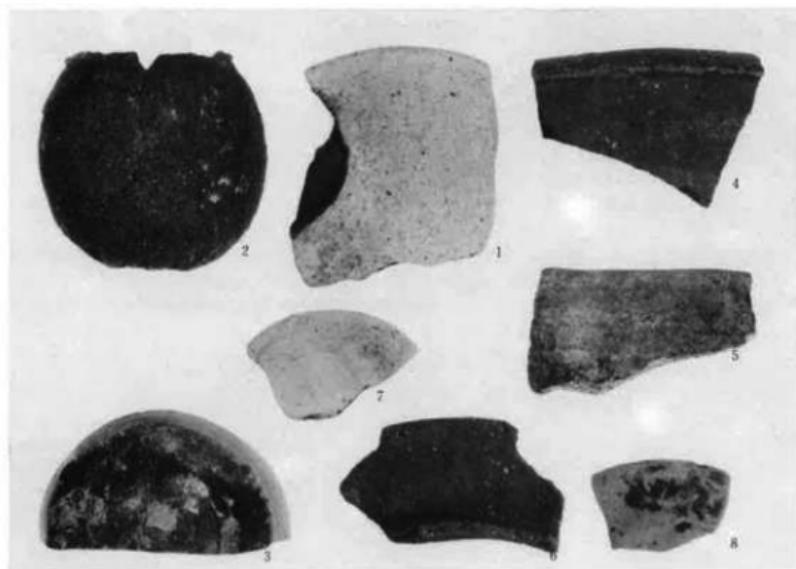
1. 調査前の状況



2. 第2層下面調査風景



1. 第3層下面全景



2. 出土遺物

東大阪市埋蔵文化財包蔵地調査概要29
東大阪市埋蔵文化財発掘調査概要
—昭和62年度—

昭和63年3月
発行 東大阪市教育委員会
印刷 近畿印刷センター